

第七十六回帝國議會
衆議院

民法中改正法律案外二件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第二六號)
非訟事件手續法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第二七號)
戶籍法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第二八號)
民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第四四號)
陪審法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第四五號)

會議

昭和十六年二月十七日(月曜日)午後一時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 飯村 五郎君

理事 仲井間宗一君

石坂 繁君

川副 隆君

鹽川 正藏君

內藤 正剛君

古島 義英君

泉 國三郎君

佐竹 晴記君

庄司 一郎君

廣川 弘禪君

松井 郡治君

二月八日

民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)及陪審法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

司法次官 三宅正太郎君

司法省民事局長 坂野 千里君

司法省刑事局長 秋山 要君

司法書記官 石田 壽君

司法書記官 大竹武七郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

非訟事件手續法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

戶籍法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

陪審法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○飯村委員長 ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キマス、先ヅ御諮リヲ致シタイノデアリマス

ガ、本日ノ日程ハ民法中改正法律案外四件デアリマスガ、審議ノ便宜上之ヲ全部一括シテ議題ニ供シ、其ノ審議ヲ進メタイト存ジマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○飯村委員長 御異議ナイト認メマス、一括シテ議題ニ供シ政府當局ノ説明ヲ求メ、逐次其ノ審議ヲ進メテ參リマス——三宅政府委員

○三宅政府委員 只今議題ニナリマシタ法律案ノ中、先ヅ民法中改正法律案及非訟事件手續法中改正法律案ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス

現行民法第七百四十九條ニ依リマスルト、家族ハ戸主ノ意ニ反シテ其ノ居所ヲ定ムルコトヲ得ズ、若シ家族ガ戸主ノ指定シタル居所ニ在ラザルトキハ、戸主ハ其ノ間其ノ家族ニ對スル扶養ノ義務ヲ免レマスノミナラズ、之ニ對シ相當ノ期間ヲ定メテ自己ノ

指定シタル場所ニ居所ヲ移スベキ旨ヲ催告シ、若シ家族ガ其ノ催告ニ應ゼザル時ハ之ヲ離籍スルコトガ出來ルコトニ相成ツテ居

ルノデアリマス、而シテ此ノ「離籍」ト云フコトハ、之ニ依リ家族ハ從來ノ家ヲ去リ一家ヲ創立スルコトニナリ、延イテ若シ其ノ家族ガ遺族扶助料又ハ特別賜金ノ拜受者デア

ル場合ニハ、其ノ受領ノ資格ヲモ失フガ如キ結果ヲ生ズルノデアリマスカラ、一家統率ノ必要上已ムヲ得ザル場合ニ於テノミ之ヲ行フベキ重大ナル制裁デアリマス、然ルニ實際ニ於キマシテハ、往々是ガ濫用セラ

レルコトガアリマシテ、殊ニ近時未亡人タル家族ニ對シ不相當ナル居所指定ヲ致シ、其ノ催告ニ應ゼザルコトヲ理由トシテ之ヲ離籍シ、扶助料賜金ヲ受ケ得ナイヤウナ不利益ヲ蒙ラシメントスルガ如キ不祥ナ事例

モ少クナイノデアリマシテ、洵ニ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、尤モ斯クノ如キ不當ナ行爲ハ、所謂權利ノ濫用トシテ無効ナリトスル判例モアルノデアリマスガ、一々ソレニハ訴訟ヲナシ、無効ノ判決ヲ受ケテナレバ目的ヲ達シマセヌノデ、寧ロ離籍ハ之ヲナスヲ得ザルヤウニ豫メ民法上明カニ規定シマスコトガ、忌ムベキ紛争ヲ未然ニ防止シ、我が家族制度ノ精華ヲ發揚致ス所以デアルト信ズルノデアリマス、此ノ趣旨ニ

基キ本案ハ家族ガ正當ノ理由ナキニ拘ラズ戸主ノ居所移轉ノ催告ニ應ゼザル場合ニ、戸主ハ裁判所ノ許可ヲ得テ之ヲ離籍スルヲ得ルモノト改メ、即チ果シテ右正當ノ理由アリヤ否ヤニ付キ、先ヅ裁判所ノ適當ナル判斷ヲ受ケタル上、專ヲ決セシメントスルノデアリマス

次ニ非訟事件手續法中改正法律案ハ、右民法ノ改正ニ伴ヒマシテ、右離籍ノ許可ニ關スル手續ヲ同法中ニ規定セントスルモノデアリマシテ、即チ右許可ハ其ノ戸主ノ住所ノ區裁判所ニ於テナサルベク、其ノ裁判所ハ離籍セラレントスル家族ヲ審訊シ、其ノ他公開セザル手續ニ依ツテ十分事實ヲ探知致シマシタ上、之ヲ決セントスルノデアリマス

次ニ戶籍法中改正法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、今次事變勃發以來戶籍事務ガ著シク繁忙ノ度ヲ加ヘ、特ニ諸般ノ身分證明ノ用ニ供スル爲メ、戶籍ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ申請スル件數ガ逐年激増致シマシテ、今ヤ全国各地ノ戶籍吏員ハ其ノ處理ニ忙殺セラレテ居リマスノミナラズ、延イテ是ガ處理ニ迅速ヲ缺キ、一般國民ニ迷惑ヲ及ボスガ如キ場合モ少カラザルコトハ、甚ダ遺憾デアリマシテ、此ノ點ニ關シ事務ノ簡捷ト關係人ノ便益トヲ

圖リマスコトハ、洵ニ喫切ナコトナノデア
リマス、本案ハ即チ此ノ趣旨ニ基キマシテ
戸籍法ニ改正ヲ加ヘ、先ヅ戸籍簿本ノ交付
ヲ申請スル者ガ、既ニ除籍セラレタル者ニ
關スル戸籍ノ記載ハ是ガ謄寫ヲ受クルノ要
ナシトスル場合ニ於キマシテハ、其ノ者ノ請
求ニ依リ其ノ謄寫ヲ省略シテ謄本ヲ作ルコ
トヲ得ルモノトシ、更ニ曩ニ交付ヲ受ケタル
謄本若シクハ抄本ノ記載事項ニ、其ノ後變更
ナキコトノ證明ヲ受ケ、又ハ戸籍ニ記載シタ
ル事項ニ付キ戸籍吏員ヨリ證明ヲ受ケマシテ、
以テ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ受クルニ代フルコ
トヲ得ルノ途ヲ開カントスルモノデアリマ
ス、其ノ他詳細ノ點ハ必要ニ應ジマシテ、
政府委員ヨリ答辯致サセタイト存ジマス、
何卒十分御審議ノ上、本案ノ通過ニ御協力
アラシコトヲ切望致ス次第デアリマス

次ニ民事訴訟法中改正法律案ノ提案理由
ヲ御説明申上ゲマス、今回ノ改正ハ強制執
行ニ於ケル競賣ヲ圓滑ニ行ハントスル目的
ニ出ヅルノデアリマシテ、平時ニ於テモ其
ノ必要ヲ認メテ居ツタノデアリマスガ、事
變以來特ニ其ノ必要性ヲ増大シマシタノ
デ、茲ニ御審議ヲ仰グヤウニ相成ツタ譯デ
アリマス、改正ノ要點ハ二點デアリマス

其ノ一ハ動産及ビ不動産ノ競賣ニ於テ、
競賣ノ方法又ハ其ノ條件ガ餘リニ劃一的デ
アリマス關係上、當事者ノ立場カラ申シマ
シテモ、將又廣ク國家的見地カラ申シマシ
テモ、妥當ヲ缺ク場合ガ少クナイノデ、之
ヲ適當ニ調整セントスルノデアリマス、先
ヅ動産ノ競賣カラ申シマス、動産ノ競賣
ハ原則トシテ所謂競上競賣デアリマシテ、
唯例外トシテ債權者又ハ債務者ノ申立テア
ル場合ニ他ノ賣却方法ヲ許容セラレテ居ル

ノデアリマスガ、所謂競上競賣ヨリモ入札
拂又ハ任意賣却ノ方法ガ、當事者ニ利益ト
ナル場合ガアリマスノミナラズ、或ル種ノ
動産ニ付キマシテハ外國人ニ賣却スルコト
ヲ適當トシナイ場合モアリ、又現在ノ如キ
國家總動員上ノ必要カラ、公定價格ヲ定メ、
且ツ適當ナル配給機構ニ依リマシテ統制シ
テ居ル場合ニ於キマシテハ、競賣ノ結果ガ
其ノ統制ヲ紊ル虞ガアルノデアリマス、ソ
レ故ニ此ノ弊害ヲ阻止スル爲メ、動産ノ競
賣ニ付キ裁判所ニ於テ職權ヲ以テ適當ナル
例外ヲ認メ得ルコトト致シタイノデアリマ
ス、次ニ不動産ノ競賣ニ付キマシテモ同様
ナル弊害ガアリマスノデ、裁判所ガ賣却條
件ヲ適當ニ變更シ、競賣ノ圓滑ヲ圖ルコト
トシタノデアリマス、以上ハ何レモ主ト
シテ公益上ノ必要ニ出ヅルノデゴザイマス

其ノ二ハ再競賣ノ弊害ヲ排除シ、且ツ時局
柄事務ノ簡捷ヲ圖ラントスルノデアリマス、
不動産ノ競賣ニ於キマシテ從來最モ甚ダ
シキ弊害ハ、競賣「ローカー」ノ暗躍ニ依
ル不動産ノ再競賣ノ反覆デアリマス、御承
知ノ通り再競賣ハ代金支拂期日ニ其ノ支拂
ガ完全ニ行ハレナイ場合ニ行フノデアリマ
スガ、從來ノ經驗ニ依リマス、競賣「ブ
ローカー」ハ先ヅ競賣期日ニ競落シマシテ、
代金支拂期日マデニ其ノ不動産ノ轉賣先ヲ
物色スルノデアリマスガ、適當ナル轉賣先
ガナイ場合ニハ代金ノ支拂ガ遅レ、最悪ノ
場合ハ再競賣トナルノデアリマスカラ、之
ヲ適當ニ防止スル爲メ代金ノ支拂ガ遅レタ
場合ニハ利息ヲ附サシメ、再競賣ノ場合ニ
ハ再度ノ競落代價ガ最初ノ競落代價ヨリ高
キ時タルト低キ時タルトヲ問ハズ、競賣ノ
保證金ヲ沒收シ、此ノ利息及ビ保證金額ハ

何レモ賣却代金ノ一部ニ繰入レ、債權者ニ
配當スルコトト致シタイノデアリマス、之ニ
依リ競賣「ブローカー」ノ暗躍ヲ防止シテ再
競賣ノ反覆ヲ避ケ、以テ債權者及ビ債務者
ノ利益ヲ考慮スルト共ニ、事務簡捷ヲ圖ラ
ントスルノデアリマス、尙ホ以上ノ改正點
ハ競賣法ニ依ル競賣ニ準用セラレ、又船舶
ノ競賣ニモ準用セラレル譯デアリ、此ノ改
正ニ依リ裁判所ノ關係スル一切ノ競賣ハ適
當ニ是正セラレルノデゴザイマス、是ガ民
事訴訟法中改正法律案ノ提案理由デアリマ
ス

最後ニ陪審法中改正法律案ノ提案理由ヲ
御説明申上ゲマス、現行陪審法ノ規定ニ依
リマスルト、陪審員資格者名簿及ビ陪審員
候補者名簿ハ何レモ毎年市町村長ガ之ヲ
調製スルコトニナツテ居リマスガ、之ニ
ハ相當ノ努力ト紙其ノ他ノ物資ヲ要スルコ
トハ申上ゲルマデモナイ所デアリマス、
而シテ陪審ノ評議ニ付セラレル事件ハ、昭
和三年ニ陪審法ヲ施行致シマシテカラ、毎
年遞減致シマシテ、最近二、三年間ハ全國
云フ状態ニアルノデアリマス、然ルニ一方
市町村ノ一般事務ハ近時激増致シマシタノ
デ、陪審法ノ運用ニ支障ヲ生ジナイ範圍内
ニ於テ、名簿調製ノ手續ヲ簡易化スル必要
ガアルト信ズルノデアリマス、一方裁判所
側ニ就キマシテ陪審法運用ノ實情ヲ調査致
シマシタ所ガ、此ノ際毎年調製ノ規定ヲ改
正シ、四年目毎ニ調製スルコトニ致シマシ
テモ、陪審法ノ運用ニモ支障ヲ生ジナイト
云フコトガ分リマシタノデ、本案ヲ提出致
シマシタ次第デアリマス

可決アラシコトヲ御願ヒ致シマス
○飯村委員長 是ヨリ原案ニ對スル質疑ヲ
許シマス——内藤君
○内藤(正)委員 先ヅ民事訴訟法中改正法
律案ノ法文ソレ自體デアリマセヌガ、只
今提案ノ理由ヲ伺ツタケデハ、從來ノ弊
害ヲ多少トモ除去スルニ役立つ法案デア
ルコトダケハ認メラレマスルガ、マダ私共ニ
ピント來ナイモノガアリマスノデ御伺ヒス
ル譯デアリマス、今ノ御説明ニ依リマス、
從來ノ再競賣ニ對シマスル弊害ヲ除去ス
ル爲メ、本改正案ガ出來タト云フノデアリマ
スガ、當局ニ御伺ヒスルノハ、是ハ實際ノ實
例デアリマスガ、最初ノ競賣期日ニ申合セ
ニ依ツテ競賣ヲ競賣申出ナキコトニ致シマ
シタ場合ニ於テハ、裁判所ハ從來ノ取扱ニ
依リマスルト、私共ノ知レル範圍ニ於テ、
殊ニ三十年來ノ經驗ニ依リマスルト、其ノ
十分ノ一若シクハ十分ノ二ヅツ最低競落價
額ガ下ツテ來ルノデアリマス、申合セヌ
レバ一万圓ノ不動産ヲ五千圓ニデモ四千圓
ニデモ下ゲルコトガ出來ルノデアリマス、
サウ云フ場合ニ付テ改正案ニハ何等ノ考慮
ヲ拂ハレテ居ナイノデアリマス、而モ此ノ
規定全體ヲ今ノ説明ヲ以テ見マス、例ハ
五百八十五條ノ二ニ「執行裁判所必要ア
リト認ムルトキハ職權ヲ以テ前條ノ裁判ヲ
爲スコトヲ得」ト云フヤウニアリマス、是
ハ適當ノ場合デアリマス、ソレカラ六百六
十二條ノ方ヲ見ルト、賣却條件ノ變更ト云
フコトヲ書イテアリマスガ、今私ノ申上ゲ
マスルヤウニ、申合セヌレバ誰デモ買取
人ハナイコトニ致シマスルナラバ、度々新
競賣期日ヲ指定シナケレバナラスコトニナ
リマス、アナタノ今ノ御説明デ見マスルト、

以上各案ニ付キマシテ、慎重御審議ノ上

初メ競落人ガアツテ、完全ニ代金ノ支拂期日ニ義務ヲ履行セザル再競賣ダケデアリマスガ、今私ノ申上ダマシタノハ、新競賣トデモ申シマセウカ、サウ云フ期日ニ付テ可ナリ弊害ガアルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ何等ノ考慮ヲ拂ハレテ居ラヌノデアリマス、而モ私達實務家ト致シマシテハ、其ノ弊ヲ現實ニ見テ居ルノデアリマス、而モ裁判所ノ方ノヤリ方トスレバ、之ニ依ルト執達吏ガ多ク仕事ニ與カルヤウニナツテ居リマスガ、裁判所ノ評價人ノ選定方法ガ非常ニヒドイノデアリマス、殊ニ田舎ハ兎モ角モ、都會地ニ於テヒドイコトヲ認メマス、

例ヘバ執達吏ヲセラレタ御經驗ノアル方ハ御承知デセウガ、執達吏ヲ裁判所ガ鑑定人ニ御命ジニナツタ場合ニ於テ、本當ニ不動産ノ扱ヒノ經驗ノナイ御方ガ執達吏トシテ鑑定ヲスルノデ、動モスレバ事情ニ即セザル鑑定ヲスルノデアリマス、斯ウ云フコトハ

法文ニハ書クコトハ出來マセヌガ、裁判所ノ取扱ニ於テ、鑑定人任命ノ方法ニ付テ一段ノ考慮ヲ要スルノデアリマス、又不動産ニ付テハ左程デモアリマセヌガ、動産ニ至リマスト其ノ弊殊ニ甚ダシイ、例ヘバ書畫骨董ノ如キ、非常ニ高價品ガアリマス、執達吏ヲ以テ初メニ競賣ヲ致シマス場合ニ於テハ、立派ナル例ヘバ掛物デ言ヘバ一幅數千圓モスルモノ、若シクハ道具ニ致シマシテモ、數百圓、數千圓、物ニ依ツテハ數萬圓致スヤウナモノデモ、鑑識眼ガアリマセヌ爲ニ安ク賣却スル場合ガアル、而モ其ノ賣却方法ハ、單ニ執達吏役場ノ表口ニ貼出シタリスルコトニ依ツテ、隨分私共ハヒドイコトヲ見テ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトニ付テ何ニモ御考慮ニナツテ居ラヌ、幸ヒ此ノ改

正案ガ出來ルノデアリマスカラ、司法當局トシテハ動産、不動産ニ拘ラズ——不動産ニハ賣却條件ガアリマス、動産ニハ賣却條件ガ別ニアリマセヌ、雖シカアリマセヌガ、評價ノ方法ニ付テ何カ御考ヘガアリマスナラバ茲ニ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、手續ハ洵ニ巧ク出來テ居ルヤウデアリマスガ、サウ云フ所ガ抜ケテ居ルノデアリマス、是ハ法文化スルコトハ難カシイカ知レマセヌガ、御方針ヲ承ラナケレバ私共ハ満足スルコトガ出來ナイノデアリマス、是ハ局長カラデモ宜シウゴザイマス

○坂野政府委員 能ク實情ヲ穿ツタ御尋ネデゴザイマス、御答ヘ致シマスガ、先ヅ第一點ノ競賣期日ニ打合セヲシテ競賣ノ申立ヲシナイ、ソレニ對スル對策ト云フコトデゴザイマス、其ノ點ニ付キマシテハ、今回

只今貴族院ニ出テ參ツテ居ルノデアリマスガ、刑法ノ改正案ノ九十六條ノ三偽計若クハ威力ヲ用ヒ又ハ談合ニ依リ公ノ競賣又ハ入札ノ公正ヲ害スヘキ行為ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處スル様ナ規定ヲ設ケマシテ、此ノ運用宜シキヲ得レバ相當ニ防遏ガ出來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス

ソレカラ鑑定人ノ件デゴザイマスガ、是ハサウ云フ御申出ノ如キコトガアリマシテハ洵ニ遺憾ト存ズルノデアリマス、吾々ノ方モ成タケ實情ニ通ジテ居ル良イ鑑定人ヲ得タイト苦勞致シテ居ル譯デアリマス、此ノ件ニ付テハ御趣旨ノ在ル所ヲ、會同等ニ於キマシテ能ク判事ノ方ニモ傳ヘ、適當ナ鑑定人ヲ選任シタイト考ヘテ居リマス、是ハ其ノ方面ニ成タケ力ヲ盡シタイト考ヘテ居リマス

ソレカラモウ一點ノ動産ノ競賣ノ點デゴザイマス、是ハ第五百八十五條デ、只今ノ所要スルニ骨董ノヤウナモノハ、是ハヤハリ執達吏ニ依ラズ、骨董商ニ依ツテノ換價モ出來ルヤウニナツテ居ルノデアリマスガ、差押債權者、執行力アル正本ニ因リ配當ヲ要求スル債權者又ハ債務者ノ申立ニ因ツテ執行裁判所ガヤルノデアリマシテ、執行裁判所ガ適當ダト思ツテモ、申立ガナケレバ自ラヤルコトハ出來ナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、今度ノ五百八十五條ノ二デハ、執行裁判所ガ必要アリト認メル

時ハ前條ノ執行ヲナスコトヲ得ト云フコトニ致シマシテ、此ノ五百八十二條ノ二ニ依リマシテ御趣旨ノヤウナ意味ニ致シテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○内藤(正)委員 御説明ハ洵ニ一應ハ御尤モニ承リマス、私ノ狙フ所ハマダモツト外ニアルノデス、例ヘバ債權者ノ申請デ執達吏ガ債務者ノモノヲ押ヘタト云フ場合ノ實情ヲ司法部ノ方デハマダ御存ジナイと思ヒマス、債務者ガ居リマス場合ハ、差押調書ニ署名捺印ヲサセマシテ、贖本ハ送りマセヌ、ソレカラ又債務者ノ居ラヌ場合ニハ、贖本ヲ執達吏ハ送ルノデアリマス、ソレハ二日カ三日位掛ルノデアリマス、大抵競賣期日ハ早イノハ一週間、遅イノデ二週間掛ル、債務者ガ不在ノ時家族デハ分リマセヌカラ、申立ノ方法ガナイ、日本ハ法治國タト言ヒマスガ、總テノ法案ニ對スル解釋ナリ規定ヲ多クノ人ガ知ツテ居ルトモ見ラヌノデアリマス、サウ云フ場合ニ於テ今私ノ申上ダマシタヤウナ弊害ガ伴フノデアリマス、今坂野局長ノ御説明ハ普通一般ノ答辯デアリマス、故ニ私共ノ答辯ヲ得タイト思ヒマ

スノハ、執達吏ノ眼ニ依ツテ、是ハ相當ノ骨董品デアアル、或ハ高價品デアルト云フ場合ニ於テハ、何カ適當ナル方法ヲ御考ヘニナルヤウナコトハナイデセウカ、之ニ付テハ執達吏カラ執行裁判所ニ斯ウ云フモノガアツタト云フヤウナ話ヲシタ場合ニハ、職權デヤルトカ云フヤウナコトヲナサルナラバ、今私ノ質問致シマシタヤウナ事柄ニ付テノ弊害ハ除去サレルト思フノデス、實情ガ實際違ツテ居ルノデス、ソレカラモウ一ツハ執達吏役場ニ出入ノ道具屋ガアリマス、殆ド大都市ニ於ケル動産物ノ競賣ハ、執達吏役場出入ノ道具屋ノ手ニ依ツテ買占メラレテ、買戻シマスノハ一割ノ利附キデ買戻シテ居ルノデアリマス、私ハ不幸ナ債務者ノ爲ニ私共事務員ヲ使ツテヤツタ先例ガアリマス、先例ヲ澤山持ツテ居リマス、旨ク妥協ガ出來ル時ハ宜シイ、出來ナイ時ハ非常ナ弊害ガアルノデス、ソレデ今幸ヒ民事訴訟法中改正法律案ガ出テ居ルノデアリマスガ、司法部ノ方デハ其處マデ考ヘガ付イテ居ルノデアリマスカドウカ、付イテ居ラナイトスレバ、執達吏等ニ依ツテ將來法ノ運用ニハ萬全ヲ期スルト云フアノ次官通牒ノヤウナモノヲ御出シニナツテ、適當ニ弊害ヲ除去サレマスナラバ、實ニ仕合せダト考ヘマシテ、御質問致シタノデアリマスガ、實情ニ遠ザカツテ居リマス、表向キハ是デ宜イノデアリマス、宜イノデアアルケレドモ、抜ケテ居ル所ガアル

ソレカラ尙ホ第六百八十八條ノ改正ノ點デアリマスガ、是ハ一旦競賣ヲ申出タ者ガ拂ハヌ時ニハ再競賣ニナル、是ハ昔カラ決マツテ居ル、而シテ一遍保證金ヲ預ケタ場合ニハ、此ノ再度ノ競落代金ガ初メノヨ

リ高イ時ト雖モ返サナイト云フヤウナ御説
明ニ承ルノデアリマス、是ハ一遍ニ片付ケ
ヨウト云フ御趣旨カラデアラウト思ヒマス
ガ、保證金ヲ預ケナカツタ場合ニ於テハド
ウスルノデスカ、前ノ競落人ハ競買ノ保證
ノ爲メ預ケタ金錢又ハ有價證券ノ返還ヲ求
メルコトヲ得ズトアリマスガ、預ケタ場合
バカリ見テ居ラレテ、預ケナカツタ場合ハ
ドウスルノデセウカ、是ハ當然理論的ニ取
レルカラ宜イト云フノデ、御書キニナラナ
カツタノデセウカ

○坂野政府委員 此ノ五百八十五條ノ二ニ
付テ御質問デアリマシタノデスカ、其ノ點
ハ私共考ヘタノデアリマシテ、此ノ「執行裁
判所必要アリト認ムルトキハ」ノ今ノヤウナ
現場ニ於テノ執達吏トノ關係、執達吏ノ必
要ト認メタ時ニハドウ連絡ヲ取ルベキカ、
是ハ試案ト致シマシテ、執達吏カラ申立ヲ
サセルト云フコトヲ法文ニ入レヨウカト考
ヘタノデゴザイマスガ、サウ云フヤウニ致
シマスルト、今度ノ立法ノ趣旨申上ゲタ
ノデアリマスガ、公定價格ガ決マツテ居ル
モノハ、執達吏ヲ俟タナクテモ裁判所デ職
權デ或ル程度ノ方法ガ出來ルノデアリマス、
サウ云フコトヲ兩方トモ「カバ」出來ルト
云フコトノ爲ニ斯様ニ廣ク書イタノデアリ
マスガ、其ノ手續ヲサセルコトハ御尤モト
思ツテ居ルノデアリマシテ、適當ナ指示ヲ
執達吏ニモ致シタイト考ヘテ居ル譯デアリ
マス、ドウゾサウ御諒承ヲ願ヒマス、ソレ
カラ保證金ノ方デアリマスガ、是ハ民事訴
訟法ノ六百六十四條ニ「競買人カ保證トシテ
競買價額十分ノ一ニ當ル金額ヲ現金又ハ有
價證券ヲ以テ直チニ執達吏ニ預クルトキニ
非サレハ其競買ヲ許サス」ト斯ウアリマスノ

デ、保證金ハ十分ノ一ダケノモノハ供託シ
テアルコトヲ前提トシテ居ル譯デアリマス、
御諒承願ヒマス
○内藤(正)委員 申立ガアツタラ、デセウ
カ、今ノ六百六十四條、是ハ「利害關係人カ
或ル競買人ヨリ保證ヲ立テシメンコトヲ申
立ツルトキハ」トアリマスガ、申立テナカツ
タラ宜イデヤアリマセウカ
○三宅政府委員 其ノ條文ハ數年前ニ變リ
マシテ、申立アルナシニ拘ラズ、總テ競買
保證ヲ立テルコトニ變ツタノデゴザイマス
レデハ……ソレカラモウ一ツ民法ノ方ヲ承
ツテ置キタイト思ヒマス、是ハ法文デハナイ
ノデスカ、實際私共色々取扱ツタ上カラ申
上ゲルノデアリマス、先程改正案ノ理由ヲ
伺ツテ洵ニ御尤モト存ジテ居リマス、ソレ
カラ之ニ對スル資料モアリマシタノデ能ク
分ツタノデアリマスガ、斯ウ云フコトヲ一
ツ司法部トシテ御考ヘニナツテ御意見ヲ承
リタイト、近時司法裁判所以外ニ憲兵隊ガ人
事相談ニ御乘リニナル、軍人軍屬ニ關スル
コトハ宜シウゴザイマスガ、軍人軍屬ニ關
係ノナイ——親父ガ死ンデシマヘバ軍人軍
屬デハナクナルノデアリマス、然ルニ駈込
ムト云フト、直グ喚出シテ可ナリ辛辣ニ踏
込マレルノデスカ、一般民衆ガ之ニ對シ
テ——中ニハ一方ニ喜ブ者ガアルト同時ニ、
片方デハ怯エル者ガアル、而モ惡口ヲ言フ
譯デハアリマセウカ、其ノ御扱ヒニナル側
ノ方ハ一般法規ニハオ暗イノデアリマス、
ソコデ離籍ニ限ラズ、人事關係ニ付デア
リマスガ、何トカ出來ルヤウニ軍ノ方ハ率
直ニ御考ヘニナツテ居ル、而モ法規ノ上ニ
於テハ、ソコデハ解決ガ出來ナイ、或ハ訴

訟ニ依ラナケレバナラナイモノガアルコト
モ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ司法部
ノ方ニ伺ツテ置キタイトハ、一方ガ現ニ軍
人軍屬タル場合ハ兎モ角、然ラザル場合ニ
於テハ一般裁判所ニ總テ持込マルベキコト、
假令ソレガ誤ツテ向フニ持込マレマシテモ、
ソレハ司法裁判所ノ方ヘ移牒スベキヤウ、
何等カノ御連絡ハ取レナイデセウカ、私ハ
ソレガ大變宜イト思フノデアリマスガ、ソ
レニ對シテ何カ御取扱上御考ヘガアレバ承
リタイト
○坂野政府委員 只今ノ御尋ネノ點デゴザ
イマスガ、是ハ各地方ニ於キマシテ師團司
令部附將官、サウ云フ方ト皆連絡ヲ致シテ
居リマシテ、斯ウ云フモノハ適當ニ吾々ノ
方ニ引渡シテ置キテ貰フコトニ打合せガ出來
テ居ル譯デスカ、大體ニ於テ此ノ頃ハ能クコ
チラトノ協議モアリマスシ、圓滿ニ進ンデ
居ルト考ヘテ居ル次第デアリマス
○内藤(正)委員 尙ホ其ノ點ニ付テ今局長
ノ御話ガアリマシタガ、事實ハ之ニ反シテ居
リマス、民衆ニ對シテ穩カナラザル言葉ノ
使ハレタ實例モ相當アルノデアリマス、私
ノ方ニ鑑定ヲ依頼ニ來タ人モアリマス、任
方ガナイカラサウ云フ場合ニハ手紙ヲ出シ
マスト初メテ手ヲ引カレルヤウデアリマス、
今次官カラ提案理由ノ御説明ヲ伺ヒマシテ
御尤モダト私ハ思ヒマス、戶主權ノ濫用ニ
依リ軍人ノ遺家族ヲ何等ノ理由ナクシテ離
籍スルト云フヤウナコトハ、是ハ甚ダ穩カ
クナイノデ、是ハ私モ認メマス、併シナガ
ラ其ノ弊害モ認メマス、中ニハ離ユベカラ
ザル線ヲ踰エテ、サウシテ一方ダケヲ聽ク
コトニ依ツテ他方ノ辯解ヲ聽イテヤラナイ
弊ノアルコトモ見逃スコトハ出來ナイ、私

共ハ此ノ意味ニ於テ、一般ノ裁判所デハ判
事各位ハ凡ユル事件ニ御携リニナツテ御經
驗モアルト思ヒマスカラ、其ノ方ガ宜カラ
ウト思ツテ、今ノヤウナ質問ヲシタ譯デア
リマス、閣ニ葬ラレテハ居リマスケレドモ、
相當數多クアルノデアリマス
今一ツ取扱ヒ上ノコトデ伺ツテ置キタイト
思ヒマスノハ、離籍ノ裁判ヲナサルノハ判
事ニ決ツテ居リマスガ、局ニ當ル判事ハ監
督判事デオヤリニナリマスカ、或ハ學校ヲ
出タバカリノ若イ判事デオヤリニナルノデ
アリマスガ、是ハ事務ニ關スルコトデアリ
マスカラ、特ニ次官カラ御答ヘヲ願ツテ置
キタイト思ヒマス

○三宅政府委員 前段ニ御話ニナリマシタ
軍人ノ方ノ關係ノコトデゴザイマスガ、私
ガ居リマシタ長崎ノ控訴院管内デハ、人事
調停ノ調停委員ニ成ベク軍人ノ方ノ人事係
トカサウ云フヤウナ方ニ來テ戴キマシテ、
サウシテ自然ニ裁判所ノ事務ヲ見テ戴キマ
シテ、決シテサウ簡單ニハ片付カナイモノ
ダト云フコトヲ段々ニ分ツテ戴クヤウナ仕
組ニ致シテ居リマシタガ、其ノ結果ハ親族
ノ争ヒト云ツテモ權柄ツクデハ行カナイモ
ノダト云フコトガ、段々ニ御分リニナルヤウ
ナ傾向ガアリマシテ、相當效果ヲ擧ゲタヤ
ウニ思ツテ居リマス、精々氣ヲ付ケマシテ
出來ルダケ協議ヲ取りマシテ、向フダケデナ
サラナイヤウニ、私達ノ方モ氣ヲ付ケテ致
シタイト思フノデアリマス、是ハ勿論出來
ルダケ老練ナ判事ニ致サセマシテ、學校ヲ
出テ直グ其ノ儘ノ方ト云フノデハ却テ納マ
リガ付カナイノデアリマス、殊ニ最近ノ人
事調停ノ結果ヲ見マス、ドウモヤハリ老
練ノ方デナイト落着キガ惡イコトガハツキ

練ノ方デナイト落着キガ惡イコトガハツキ

リ分ツテ居リマスノデ、殊ニ親族關係ノ細
カイト、殊ニ離婚ト云フヤウナコトニ付
テノ、十分ノ理解ノナイ若イ判事ニサセル
コトハ、結局物ノ落着キ所ガ惡イコトニナ
リマスノデ、出來ルダケハ入念ニ、又慎
重ニヤツテ戴クヤウニ、老判事ニ御願ヒシ
タイト思ツテ居リマス

○内藤(正)委員 誤解ガアルトイケマセヌ
カラソコノ止メダケ申上ゲテ置キマス、私ノ
考ヘ所ハ、例ヘバ人事調停ノ申出ガアツテ
話合ヒガ付イタガ、調停デ以テ離婚スルコ
トモ出來マイト思ヒマスカラ、是ハ離婚ノ
裁判ニ依ツテヤル、サウ云フ場合ニハ是ハ若
イ判事デモ結構デアリマス、アトハ形式ダ
ケノコトデアリマス、併シ調停カラ來タノ
デハナクテ、突然ボカント來タヤウナ場合ニ
ハ、監督判事若クハ之ニ代ルベキ——是ハ
區裁判所ノ專屬管轄ノ非訟事件ノコトデア
リマスカラ之ニ代ルベキ年功ノアル判事ヲ
シテ當ラシムルヤウニ、ドウゾ通牒ハ出シ
テ置イテ戴キタイト思フノデアリマス、甚
ダ失禮ナコトヲ申シマシタ

○三宅政府委員 確カニ其ノ通り致シマス
○飯村委員 内藤サン宜シウゴザイマス
カ

○内藤(正)委員 宜シウゴザイマス
○飯村委員 庄司君
○庄司委員 民法中改正法律案ト非訟事件
手續法中改正法律案ニ關聯致シマシテ、法
文ノ方ヨリモ、本質的ナ運管上ノ問題ニ付
キマシテ參考マデニ伺ヒタイト思ヒマス、
ソレハ離婚ノ爭議等ガ不幸ニシテ發生致シ
マシタ場合、特ニ軍屬ナドノ未亡人等ノ場
合ニ於テハ、先年ノ議會ニ於テ御協賛申上
ゲマシタ家事調停法ト云フモノヲ先ツ以テ

活カシテ、之ヲ活用スルコトニ依ツテ調停
主義ヲ飽クマデ持ツテ戴キタイト、ソレニハ
區裁判所或ハ地方裁判所等ニ於テ、左様ナ
離婚爭議等ノ事件ガ不幸ニシテ擡頭シタ場
合ニハ、離婚ヲ裁判所ニ於テ決定サレル前
ニ、當該町村長——町村長ハ銜後相談所長
或ハ軍人援護會町村支部長等ノ職ニアル關
係上、又在郷軍人會分會長、或ハ婦人團體
ノ分會長トカ支部長、斯ウ云フヤウナ方々
ニ裁判所トシテハ能ク實情ヲ諮問サレテ、
其ノ後ニ於テ離婚ヲ許可サレルト云フヤウ
ナコトニ行カナケレバ、此ノ二ツノ法案ガ
萬一離婚ヲ獎勵スルヤウナコトニ濫用サレ
ル虞ガアツテハイケナイ、折角前議會ニ於
テ御協賛ヲ申上ゲテ、只今施行サレテ居ル
家事調停法ヲ活カシテ行ク上カラ言ヒマシ
テモ、私共御尋ネシタイトハ、裁判所ニ
於カレテハ町村長或ハ其ノ他ノ町村ノ責任
者ニ能ク實情ヲ諮問サレテ——只今モオ若
イ裁判官ト云フ御言葉ガアラレタヤウデア
リマスガ、オ若イ方々ガ何等實情ヲ調査サ
レナイデ、專斷ニ離婚ヲ一瀆千里ニ確定サ
レルヤウナコトガアリマス、折角家事調
停法ヲ御制定下サツタ趣旨ニ副ハナイ結果
ニ陥ル虞ガアルト私ハ考ヘマス、サウ云フ
點ニ付テドウ云フ御意見デゴザイマスカ、
局長サンカラ伺ヒタイト思ヒマス

○坂野政府委員 此ノ改正案ハ、先刻モ一
寸次官カラ申上ゲマシタヤウニ、成タケ離
籍權ノ濫用ト云フコトガナイヤウニト云フ
コトカラ、斯ウ云フ立法ヲ致シタ譯デゴザ
イマシテ、是ガ濫用サレテハ其ノ立法ノ趣
旨ニ相反スルノデアリマスカラ、此ノ點ニ
付キマシテハ、斯ウ云フ離婚ノ許可ノ裁判
ヲスベキヤ否ヤト云フ點ニ付テハ、裁判長

トシテハ慎重ニ色々ナ證據調べヲシタ結果
斯様ナ許可ヲシ、或ハ不許可ノ決定ヲスベ
ク十分注意ヲシテヤル考ヘデ居ル次第デゴ
ザイマス
○庄司委員 此ノ離婚問題ガ愈々斷末魔ニ入
リマシタ場合ニ於テ、只今私ガ申上ゲルヤ
ウニ裁判所ノ判官諸公ハ、地方ノ町村長ナ
リ、或ハ在郷軍人分會長、サウ云フ關係者
ニ諮問シ、或ハ實情ヲ調査スルト云フヤウ
ナ態度デ此ノ法案ノ運用ニ當ラレル御考ヘ
ヲ持ツテ居ラレマセヌスカ
○坂野政府委員 今申上ゲタ通り、此ノ許
可ノ裁判ヲ致シマスニ付テハ各方面ノ人々
ノ意見ヲ聽キ、或ハ證據調べベシテ決定ス
ベキモノデアルト考ヘテ居ル次第デゴザイ
マス、事柄ニ依リマシテ必ズ軍人援護會長
ナント云フヤウナ者ニ諮問スルカト云フ
コトハ、是ハ相當裁判所ノ具體的ナ事件ニ
付テノヤリ方ニ關シマスノデ、ハツキリ此
處デ必ズヤルトハ申上ゲラレヌノデゴザイ
マスガ、大體ニ於テサウ云フコトニナルノ
デヤナイカト考ヘテ居リマス
○庄司委員 判檢事ガ全部諮問ヲセヨト云
フヤウナコトヲ私ハ迫ルノデアリマセヌ、
必要ナ場合ニ於テハ、獨斷專行的ニオヤリ
ニナラズニ、關係ヲ持ツテ居ル地方ノ當該
町村長等ニ能ク實情ヲ諮問サレルナラバ、御
參考ノ一端ニナリ得ルト思ヒマシテ申上ゲ
タノデゴザイマシテ、只今ノ御答辯ヲ承ツ
テ其ノ點ニ關スル限リニ於テハ諒承致シマ
ス

ハ數年前ニ交付シタ戶籍謄本デアリマシテ
モ、現在當該家庭ノ戶籍ト對照致シマシテ、
何等戶籍上ノ變化ガナイト云フヤウナ場
合ニハ、此ノ謄本ノ記載通り現在ノ戶籍ガ
相違ナイモノデアルト云フコトヲ町村長ガ
認メマシタ場合ニ於キマシテハ、左様ナ認
證文ヲ書キマシテ、手数料等ヲ徴收シナイ
デ現在交付シテ居ルヤウナ次第デアリマス、
又民事局長ノ通牒デアツタト思ヒマスガ、
請求サレマシタ場合ニハ、必要ノナイ家族
等ヲ「オミット」シテ戶籍謄本ヲ現在交付シ
テ居ルノデアリマス、實際ハ只今御提案ノ戶
籍法中ノ改正法律案ノ趣旨ノ如ク現在ハ實
施シテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ殊更ニ
御提案ニナツタ理由ガ何處ニアルカ、實務
家デゴザイマス不肖私共ニハ分ラナイノデ
ゴザイマス、此ノ通りニ地方町村ハ實行シ
テ居ルノデアリマスガ、特ニ法律ヲ改正ス
ルト云フ理由ハ、成文化スト云フ意味ニ於
テダケ改正ヲ只今求メラレテ居ルノデアリ
マスカ、其ノ關係ヲ一寸御伺ヒ致シマス

○坂野政府委員 此ノ謄本ノ記載ヲ省略致
シマス、理論的ニ申シマスレバヤハリソ
レハ抄本ニナル、謄本トハ言ヒニクイノデ
ハナイカト思ヒマス、ソレデ十四條ノヤウ
ニ除籍者ニ關スル記載ノ省略ヲ省略シテモ、
是ハ謄本ヲ作ルノダト云フコトニナリマシ
テ、初メテソレガ謄本ニナルノデハナイカ
ト考ヘテ居リマス、現實ニサウ云フ問題ガ
アリマシテモ、ソレハ寧ろ抄本トシテ考ヘ
ナケレバナラナイノデヤナイカ、斯様ニ考
ヘテ居リマス、ソレカラ十四條ノ一ニ付テ、
サウ云フ場合ガ現在アルヤウニ御話デゴザ
イマシタガ、理論的ニ申シマスレバ、ヤハ
リ前ノ謄本ハ後ノ認證デ生キタモノトハ直

次ハ戶籍法ノ改正法律案ニ付キマシテ、
町村ニ於ケル實情ニ即シテ御伺ヒ申上ゲル
點ガ一、二ゴザイマス、現在地方町村ノ戶籍
關係ノ役場ニ於キマシテハ、十數年前ニ或

チニハ言ヘナイノデハナイカ、ソレデ此ノ規定ヲ置キマシテ、ソレガ效力アルヤウニ致シタノデアリマス

○庄司委員 只今ノ質疑ハ當局ノ御答辯デ諒解致シマシタ、次ハ戸籍及ビ寄留事務ニ關スル市町村戸籍役場ノ戸籍ニ關スル臺帳及ビ謄本、抄本等ノ用紙、是ハ大體一定ニ規格化サレテ居リマスルガ、最近紙——紙ト申シマシテモ西洋紙デハゴザイマセヌ

デ、之ニ用ヒル紙ハ元來ノ日本ノ紙、和紙デアリマスガ、ソレガ非常ニ品不足ノ状態ニアリマスルノデ市町村ノ戸籍事務關係ニ於テハ非常ニ困ツテ居ルノデアリマス、仍テ此ノ改正法案トハ直接關係ノナイ御伺ヒヲ致シマスガ、司法省ニ於カレマシテハ、

左様ナ市町村戸籍役場ノ實情ヲ能ク御調査下サイマシテ、刑務所等ニ於テモ和紙ノ生産、或ハ印刷工場等モアラレルヤニ承ツテ居リマスノデ、全國一萬一千四百餘ノ市町村ノ戸籍臺帳或ハ謄本抄本ニ必要ナ、アノ和紙ヲ出來ルナラバ市町村ニ實費ヲ以テ配給サルル意味ニ於テ、刑務所等ニ於テ印刷ノ上全國ノ市町村ヨリ其ノ註文ヲ取ラレマシテ、全國ノ市町村役場ノ戸籍事務ニ關係ノ

アル印刷物ダケ配給ヲサレテハ如何ナモノデアリマセウカ、實ハ配給サレマス市町村役場ハ非常ニ助カル、現在和紙ガナイ爲ニ非常ニ苦ンデ居リマス、和紙デアリマセヌト戸籍關係ニ於テハ長イ保存モ困難デアリマス、スフノ入ツタザラ紙ヲ以テ戸籍臺本ヲ作ルト云フコトハイカナイト云フ實情デゴザイマスカラ、左様ナコトヲ一ツ御考ヘ下サツテ、町村役場ニ對シテ別ニ司法省ハ戸籍事務ト云フ大キナ委任事務ヲ負ハサレテモ何モ補助ノ交付モナイノデアリマ

スカラ、セメテハソレ等ニ要スル所ノ紙位ハ一ツ御心配下サツテ、出來得ルナラバ實費デ配給ナサレルコトモ、市町村ニ對シテハ一種ノ助成ニモナルノデアリマシテ、サウ云フコトヲ現在御計畫ニナツテ居ラレマセスカ、是ハ御伺ヒト云フコトヨリハ、實ハ私ノ熱望デアリマスガ、御伺ヒヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○坂野政府委員 市町村ノ戸籍事務ニ付テ御同情アル御言葉デ、非常ニ有難イト思ヒマス、吾々モ非常ニ實際ノ状態ヲ氣ノ毒ト致シテ居ルノデアリマシテ、今度此ノ戸籍法ガ若シ成立致シマスレバ、其ノ際ノ施行細則ヲ決メマス際ニ、少クトモ副本用紙ハ原本用紙トハ違ツタ質デモ宜イト云フ程度ノコトハ致シタイト思ヒマス、ソレカラ次ニ今ノ和用紙ヲ配給スル點デアリマスガ、私ノ方デハ成タケ致シタイト思フノデゴザイマスガ、今ノ所刑務所ノ能力ガ十分ココマデ手ガ廻ラヌヤウデアリマス、色々ノ設備ノ進捗ニ伴ヒマシテ、斯ウ云フ方面ニモ速キ將來ニ廻ルヤウニモ考ヘラレマスノデ、其ノ時ニハ十分努力シテ御趣旨ニ副ヒタイト考ヘテ居リマス

○庄司委員 アト二ツ程ゴザイマス、ソレハ區裁判所ノ所在地、ソレカラ段々大キクナツテ參リマシテ、地方裁判所ノ所在地ニ御承知ノ如ク戸籍及ビ寄留事務ニ關スル研究會ガ全國ニゴザイマス、而シテ裁判所ノ指揮、監督、御指導ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ、今回ノヤウニ戸籍法ノ改正等ガ行ハレマシタ直後等ニ於テハ、殊更ニ少クトモ全國ノ道府縣、即チ地方裁判所ノ聯合戸籍寄留事務研究會等ヲ速カニ開催サレテ、改正サレタ戸籍法等ノ研究ヲ市町村ハ營マ

ネバナラヌヤウナ状態ニナツテ居リマス、前年ヤハリ司法省關係ノ御提案ノ委員會ニ於テ私ガ御指摘申上ゲマシタ通り、前年十五年度ノ戸籍寄留事務ニ關スル司法省ノ指導費ト云ヒマスガ、監督費ト云ヒマスガ、ソレハ千二百圓シカナカツタノデアリマシテ、左様ナ千二百圓ノ指導獎勵費デハ、到底此ノ實績ヲ舉ゲルヤウナコトハ出來ナイト云フコトヲ申上ゲマシタ所ガ、民意ノ上達ヲ容レテ戴イテ、十六年度ノ豫算ニハ多分七萬圓カ幾ラカ御計上下サレタヤウデアリマシテ、其ノ御苦心ノ程ハ洵ニ敬意ヲ表スル次第デアリマスガ、ソレ等ノ戸籍並ニ寄留事務ノ講習會等ニ對シマシテ、司法省ハ補助金ヲ交付サレル御意思ガゴザイマセヌデセウカ、幸ヒニ今回前年度ニ千二百圓シカナカツタ戸籍寄留事務ニ關スル指導獎勵費ガ——或ハ私ノ數字ハ記憶ガ違ツテ居ルカ分リマセヌガ、何万ト云フ經費ヲ御取リ下サツタ以上ハ、ソレ等ノ地方町村ニ補助下サル意味ニ於テ——結果ハサウナルノデアリマシテ、研究會講習會等ニ特ニ御廻シヲ願ヒタイト云フ希望デアリマスガ、御考ヘハ如何デアリマセウカ、伺ヒタイト思ヒマス

○坂野政府委員 御尋ネノヤウニ本年度ノ豫算ニ於テ戸籍事務ノ指導監督ニ要スル經費ト致シマシテ約七萬圓ノ金額ヲ請求致シテアリマスガ、大體協賛ヲ得タヤウデゴザイマス、是ハ各地方裁判所毎ニ戸籍吏員ヲ召集致シマシテ會同スル、其ノ費用ニ充テル意思デ以テ取ツテアルノデゴザイマシテ、此ノ戸籍法施行後、各地方裁判所ニ管内ノ戸籍吏員ヲ年一回會同致シマシテ、色色ノ指導ヲナシ監督ヲ致シタイ、斯様ニ考

ヘテ居リマス

○庄司委員 只今ノ御答辯ニ満足致シマス、其ノ次ニハ地方ニ於テ戸籍寄留事務ニ關スル研究會講習會ヲ開イタ場合ニ、議論ガ具體的ノ案件ニ遭遇シタ場合ニ於テ、所謂區裁判所ノ監督判事或ハ監督書記ト云フヤウナ方々ニ、地方町村ノ戸籍吏員ガ、疑問デドウシテモ解釋ガ出來マセヌ專門ナ重大ナル案件ニ付テ御指導ヲ仰グノデアリマスガ、甚ダ失禮ナコトヲ申上ゲマスケレドモ、只今地方ニ於テ指導監督ノ地位ニアル監督判事或ハ監督書記ハ、一氣呵成的ニ明快ナル所ノ御指導ガ、現在ノ所出來マセヌ、ソレハ見テ居リマシテモ實ニ氣ノ毒ノヤウナ状態デアリマス、判事或ハ監督書記ハ脂汗ヲ流シテ一時間モ二時間モ答辯ニ窮シテ居ル私ハ地方ニ於テハ會長或ハ聯合會ノ理事ヲヤツテ居ルノデアリマスガ、氣ヲ利カシテ御答辯ヲ保留サセテ置キマシテモ中々解答ガ出來ナイ、ト云フノハ區裁判所ノ監督判事或ハ監督書記ト云フ諸君ハ非常ニ御多忙デアリマシテ、戸籍寄留事務ニ關スル所ノ——色々改廢サレテ居リ、新シク改正サレタ法令或ハ現實ノ實際問題等ニ付テ、裁斷ヲ下シ得ル程度マデ御研究ガ至ツテ居リマセヌ、アレデハ裁判所ノ威嚴威信ニ關スル問題デアルト思ヒマス、仍テ其ノ結論ハ、少クトモ一地方裁判所ニ、最初ハ一人位デ宜シウゴザイマスカラ、戸籍寄留事務ニ關スル所ノ專任ノ指導員——名前ハ書記デモ何デモ宜シウゴザイマス、指導員ヲ設置サレテ、戸籍寄留ニ關スル事務ハ御承知ノ通り洵ニ複雑多岐ニナツテ參リマシテ、目マグルシイ程ノ多忙ニ只今陥ツテ居リマス、斯ウ云フ際ニ年一回或ハ二回裁判所管

内ニ於テ開催サレテ居リマス研究會、講習會等ニ於テ、一刀兩斷ノ下ニ疑問ノ問題ハ御指導ヲナシ得ル所ノ實力ヲ涵養サレテ、裁判所ノ指導的ノ威嚴ト云フモノヲ高メテ貫ヒタイ、サウデアリマセスト、之ヲ一々司法省ニ御伺ヒラスルト云フヤウナコトニナリマスト、地方ノ戶籍寄留事務ニ關スル所ノ研究會ト云フモノハ其ノ實績ガ學ヲナイノデアリマス、サウ云フ專任ノ戶籍寄留事務ニ關スル指導員ヲ全國的ニ設置下サルト云フヤウナ御意思ガナイデアリマセウカ、是ハ實際長イ間見テ居ツテ必要デアルト痛感シテ居ルノデアリマスガ、御意見ハ如何デアリマセウカ

○坂野政府委員 其ノ點ニ付テハ吾々ノ方モ出來ルダケ專任ノ書記ヲ置キマシテ、指導監督ニ當ラシタイト考ヘマシテ、實ハ今年度ノ豫算ヲ請求スル際ニモ、吾々ハ計畫ハ致シマシテ、豫算ノ請求ヲ致シタノデアリマスガ、色々ノ權衡上本年ハ豫算ニハ計上出來ナカッタノデアリマスケレドモ、將來努力ヲ致シマシテ其ノ實現ヲ期シタイト考ヘテ居リマス

○庄司委員 其ノ御答ヘデ諒承致シマス、戶籍寄留事務ニ關係致シマシテ今一ツ伺ヒマスガ、戶籍寄留事務ハ詰リ市町村ニ取ツテハ政府ノ——司法大臣ノ委任事務デアリマス、委任事務デアルケレドモ、政府ヨリ鑑一文何等ノ補助或ハ助成ガゴザイマセヌ、而シテ市町村ハ司法省ノ御命令通り其ノ複雑多岐ナル任事ヲヤツテ居ルノデアリマスタガ、戶籍寄留事務ダケハ二年三年位ノ簡單ナル訓練デハ優秀ナル所ノ專任書記ヲ得難イノデアリマス、勢ヒ相當市町村トシテハ犧牲ヲ拂ヒマシテ、薄給ノ中ニモ相當ノ俸

給ヲ與ヘテ、或ハ二十年或ハ三十年ト長イ間勤續ヲシテ貰ハナカッタナラバ、此ノ戶籍寄留事務ニ關スル專任ノ吏員、書記トシテハ相應シクナカッタノデアリマス、戶籍寄留事務ニ關スル專任ノ吏員書記ト云フモノハ、何處ノ町村ニ於テモ或ハ二十年、或ハ三十年、四十年ト云フ勤續デアル、ソレデ私ハ事敍勳ニ關スルコトデアリマスカラ、是ハ慎重ナル態度ヲ以テ御高見ヲ承ルノデアリマスガ、司法省ノ委任事務ヲ三十年モ四十年モ勤續シテ、戶籍寄留事務ニ一生涯ヲ没頭シテ居ル所ノ市町村ノ戶籍吏員等ニ對シ、敍勳ノ御沙汰ガアラレルヤウニ、司法省ニ於テハ御配慮下サルコトガ出來得ナイデアリマセウカ、實ハ宮城控訴院管内ノ聯合大會ニ於テハ左様ナコトヲ御願ヒ申上ゲルコトニ決議ヲシテ居ルノデアリマス、三十年モ四十年モ勤續致シマシテモ、敍勳方面カラ見マスルト判任官待遇モナイノデアリマス、僅カニ司法大臣ノ御墨付、一枚ノ表彰狀、或ハ控訴院長、地方裁判所長等ノ表彰ハアリマスケレドモ、敍勳ト云フハ全國的ニ其ノ例ガゴザイマセヌ、其ノ例ノナイコトヲ打破サレテ、何十年ト云フ長イ間黙黙トシテ働イテ居ル戶籍寄留事務專任ノ吏員等ニ對シマシテ、敍勳ヲ仰ゴト云フヤウヲ御考ヘガゴザイマセヌデセウカ、是非私ハサウシテ欲シイト云フ熱意ヲ持ツテ居ルノデアリマス、現ニ宮城控訴院管内ノ聯合戶籍寄留事務大會ニ於キマシテモ其ノ要望ガアツタノデアリマスガ、司法省トシテハ如何デアリマセウカ

○坂野政府委員 御趣旨ノアリマス所ハ能ク拜承致シマシタガ、其ノ案ニ付テハ一寸此處デハ申上ゲ兼ねルト云フコトヲ御答ヘ

致シテ置キマス

○庄司委員 次ニ陪審法ノ改正法律案ニ付テ唯一項ダケ質問ヲ申上ゲテ置キマス、陪審制度ト云フモノハ、之ヲ根本的ニオナクシニナル御意思ガアリマセヌカ、實際統計ヲ見マシテモ一箇年ニ二件或ハ三件シカナイノデアリマス、將來此ノ陪審制度ニ依ツテ被告人ガ陪審裁判ヲ要求スルヤウナ形勢ニアルナラバイザ知ラズ、實際ニ於テハナイノデアリマスカラ必要ガナイノデアリマス、ソレニハ色々ノ理由モゴザイマセウケレドモ、我が國ノ司法裁判ニ對スル國民ノ信賴ト云フモノガ非常ニ鞏固デアリマシテ、裁判所ト云フモノヲ國民ガ非常ニ信賴ヲシテ、其ノ結果西洋流ノ「デモクラシー」ノ爲ニ此ノ陪審制度ガ我が國ニ出來タノカドウカハ分リマセヌガ、少クとも西洋諸國ト違ヒマシテ、三權分立ノ上カラ儼然トシテ、司法權獨立ノ大旗ヲ揮ツテ居ラレル所ノ、信賴セラレテ居ル司法省デアリ、裁判デアルガ故ニ此ノ陪審裁判ヲ申請スル者ガ少イノデハナカラウカト私ハ考ヘルノデアリマス、其ノ他ニモ色々理由ガアリマセウケレドモ、實際一箇年ニ二件カ三件シカナイ此ノ陪審裁判ニ付テハ、市町村長ニハ多大ニ迷惑ヲ掛ケテ居ル、今回ノ改正法ニ依ツテ毎年デナク四箇年目ニ一回ト云フコトニナリマシタガ、實際問題トシテ是ハ必要ガナイデヤナイカ、斯ウ云フモノハ一ツ司法省ノ面目ニ囚ハレズニ廢止サレテハドウカ、大變立派ナ陪審裁判所ノ建物ガ出來、公判廷ガ出來テ居リマスガ、アア云フモノハ此ノ資材ノ乏シイ場合デアルカラ、少年審判所ノ代用ニシテモ宜イ、必要ノナイモノヲ唯面目ニ囚ハレテ存置スルコトハ、實ニ滑稽ナコトデア

ト私ハ思フノデアリマス、將來益々陪審裁判ヲ仰グ者ガ累増スル、遞増スルト云フ形勢ニデモアレバ別問題デアリマスガ、事實ハサウデナイノデアリマスカラ、斯ウ云フ場合ニ於テ思ヒ切ツテ御廢メニナツテハドウカ、是ハ大體西洋ノ模倣ノヤウニ聞イテ居リマスガ日本ノ裁判ハ諸外國ニ比ベテ——

是ハ比較的ノ言葉デアアルガ、洵ニ信賴サレル立派ナ裁判ヲサレテ居ル、行刑ニ於テモ、司法保護ノ關係ニ於テモ、裁判ハ無論ノコトデアリマス、ソコデ此ノ陪審制度ハ根本的ニ御廢止ニナリマスト、地方ノ市町村長ハ大變助カリマス、此ノ間ノ第二十一回ノ町村長ノ大會ニ於テモ、コンナコトヲ毎年々々ヤルコトハ——今度ハ四箇年毎ト云フノデアリマスガ、必要ガナイト云フ提案ガアツタ、併シソレヲ決議スルコトハ司法省ニ對シテ如何デアラウカト云フコトデ、之ヲ政務調査會ニ廻ハシテ、次ノ大會マデ保留ト云フコトニナツタノデアリマス、是ハ一月二十一日ノ全國大會ニ於テデアリマス、面子ニ囚ハレナイデ御廢メニナツタラ宜イデヤナイカト考ヘマスガ、御高見ハ如何デアリマセウカ

○秋山政府委員 陪審制度ヲ根本的ニ廢止スル意思ガナイカドウカト云フ御尋ネデアリマスガ、成程御話ノ通り陪審ノ評議ニ付セラレル事件ハ段々減少シテ參リマシテ、最近數箇年ハ毎年數件ニ過ギナイト云フ状態ニハナツテ居リマスケレドモ、全然ナクナツタ譯デハナイノデアリマス、此ノ陪審制度ガ出來マシタノハ、國民ヲシテ犯罪事實ノアルナシニ付キマシテ、常識ノアリ判斷ヲナシメマシテ、サウシテ裁判ヲ誤ラシメナイト云フ所ノ、高遠ノ理想ニ基イテ出

來上ツタモノデアリマスノデ、今俄カニ之ヲ廢止スルト云フコトハ如何デアリマセウカ、モウ暫ク成行ヲ見タ上デ、適當ナ處置ヲスベキモノデアルト云フ風ニ考ヘテ居リマ

○古島委員 關聯シテ——陪審制度廢止上

ノ話ガ出マシタガ、陪審制度ヲ布カレテカラ陪審ニ掛ル者ガ段々少クナツタ、何ノ爲ニ少クナルカト云フ、其ノ原因ヲ究メテ見ル必要ガアラウト思フデアリマス、ソレハ御承知ノ通り陪審員自體ガ餘リ面白クナイデアリマス、實際カラ言フナラバ、成程廣ク民衆ノ間カラ陪審員ヲ採ルト云フコトハ結構デアリマスケレドモ、全ク法律ノ知識モナシ、常識ニ戀ヘルト申シマスルガ、常識モ如何カト思フヤウナ者ガ随分多イノデアリマス、炭屋サン、芋屋サント云フモノガ其ノ儘出テヤツテ居ル、而モ裁判所ノ説示ヲスルト云フコトハ極メテ巧妙ニヤリマスカラ、ドウシテモソレニ釣ラレテシマフノデアリマス、即チ陪審法ヲ生カシテ置クト云フナラバ、陪審員ノ選任ト云フコトハ餘程注意セネバナラヌノデアリマス、而シテ結構ナ陪審法デアリマスガ之ニ控訴ヲ許スト云フコトニシナケレバナラヌ、控訴モ上告モ自由ニ出來ルト云フコトニナレバ、陪審ニ掛ルモノガ甚ダ多クナルノデアリマス、御承知デモアリマセウガ、犯罪當時ト、判決當時ト、控訴當時トハ、大變裁判ヲスル人々ノ心持モ變ツテ參ルモノト見エマシテ、第一審デハ比較的感情ガ手傳ツテ重ク罰スル、控訴ニナルト事情等モ判明致シマスノデ何分カ引イテ貰フト云フコトモアル、第一審デ有罪デアリマシテモ、控訴審デ無罪ニナツタト云フ例ハ中々多イノデアリマス、所

ガ陪審ニ於キマシテハ第一審デ芋屋サンナリ、薪屋サンナリガ、先ツサウカサウデナイカト云フ可否ヲ決シテ、其ノ儘デ判決ニナル結果、ドウモ危険デ之ニ任セル譯ニ行カヌ、陪審ニ掛ルコトハ極メテ危険デアルト云フコトカラ、所謂御遠慮申上ゲルト云フコトデ辭退ヲシテシマフ、サウデナク控訴ヲ許サレルト云フコトニナレバ、之ニ掛ツテヤツテ見ヨウ云フ者モ出テ參リマス、又陪審員自體ガ、或ハ法律家デアルトカ、相當物ノ分ツタヤウナ人ガ任ニ當ツテ居ルナラバ、アノ人ナラバ信用ガ出來ヤウト云フノデ、陪審ニ掛ル人ガ多イト思フノデアリマス、然ルニ今日ノ制度ノヤウナ、陪審員自體ガ餘リニ變ナ類ヒノ者デ、サウシテ控訴モ何モ一切出來ナイト云フコトニナツテ居ルカラ、今日段々斯ウ云フ結構ナ陪審法デアアルガ、之ニ掛ル人ガナクナルノ

○秋山政府委員

御答ヘ致シマス、陪審事件ガ段々少クナル理由ハ色々アリマセウガ、只今御話ノヤウニ控訴ガ出來ナイト云フヤウナコトガ非常ニ重要ナル點デアルト思ヒマス、其ノ他非常ニ手續ガ煩雜デアルトカ、或ハ御話ノヤウナ素人ノ判斷ニ付テ非常ニ不安ヲ感ズルトカ云フヤウナ點デアラウト思ヒマシテ、ソコデ陪審法ト云フモノヲ全然廢止スルカ、或ハ陪審法ノ只今御話ノヤウナ點ヲ改正シテ之ヲ尙ホ存續スベキカト

云フヤウナコトニ付キマシテハ、篤ト是ハ研究ヲシナケレバナラヌ問題ダト思ヒマス、サウ云フ問題ニ付キマシテハ今後大イニ司法當局ト致シマシテモ研究シテ見ル積リデ居リマス

○古島委員

御研究ヲ願フコトハ極メテ結構デアリマスガ、只今ノ庄司君ノ御質問ノヤウニ、ヤハリドウシテモ廢止シナケレバナラヌヤウナ羽目マデ行ツテ居ル今日デアリマスカラ、御研究ノ出來ルマデノ間陪審法ノ實際ノ效力ヲ停止スルト云フヤウナコトニシテ、根本的改正ガ出來タラバ再ビ之ヲ實施スルト云フヤウナコトノ御考ヘハナイモノデセウカ、私ハ此ノ際廢止スルト云フコトモ惜シイモノデアリマスカラ、司法省デ相當ノ研究ノ出來ルマデノ間之ヲ停止シテ置クト云フ必要ガ起ルデハナカラウカ、此ノ點ニ關スル御意見ヲ承リマス

ニ、中央官廳ノ判任官ノ給與ノ平均ハ約七十五圓デアアル、東京市ノ書記ノ平均ハ約百圓デアアルノニ比較シテ、裁判所ノ書記ニ至ツテハ六十圓見當ト云ハレテ居ル云々トゴザイマシテ、司法省關係ノ判任官書記ノ給與ガ他ノ官廳或ハ市等ト比ベマシテ比較的劣等ノ地位ニアルト云フコトデゴザイマス、尙ホ私ハ本議會ノ決算委員會ノ速記録ヲ拜見致シマシテ、司法省關係ノ裁判所書記或ハ檢事局ノ書記、登記所所長等々ノ數万圓橫領費消、或ハ横領後ニ於テ責任ヲ感ジテ自殺ヲシタト云フヤウナ、此ノ悲惨ナ事件ヲ承知致シマシタ、斯様ナ犯罪或ハ自殺ト云フ問題ハ、究極スル所ハ生活難カラ來タモノデアアルマイガト云フヤウナ考察ヲサセラレマシタ、又私ハ現ニ宮城縣大河原區裁判所所在地ノ町長ヲ勤メテ居リマスガ、

○秋山政府委員

之ヲ廢止スベキモノカ、或ハ一時停止スベキモノカト云フコトニ付キマシテモ、實ハ議論ガ随分アツタノデゴザイマス、併シナガラ現在ト致シマシテハ、一時停止ト云フコトモ今暫ク此ノ成行ヲ見タ上デ考ヘナケレバナラヌノデヤナイカト云フコトニ、司法省ノ意向ハ決マツテ居リマス

○庄司委員

アトハ二項デゴザイマスガ、一項ダケ申上ゲマス、只今大分院ノ内外ニ於テ司法省關係ノ刑務所ノ看守諸君、裁判所、檢事局等ノ書記、雇員、廷丁等ニ關スル生活安定ノ爲ノ待遇ノ改善ト云フ論議ガ行ハレテ居リマシテ、只今モ別室ノ請願委員會等ニ於テ其ノ説ガ北浦君等ヨリ熱心ニ要望サレテ居ルノデアリマスガ、二月四日ノ朝日新聞ノ有題無題ト云フ或ル特別ノ欄

遇デアロトハ、請願委員會ニ於ケル北浦君ノ御熱心ナル御説ヲ聞クマデモナク、明白ナル事實デアルト思フノデゴザイマス、サウ云フ實情デゴザイマスカラ、司法省ノ大官諸公ニ於カレテハ、親心ヲ以テ是非増俸モシテヤリタイ、手當モ出シテヤリタイト云フ御考ヘハ、私ガ言ハナクテモ無論山山デゴザイマセウケレドモ、事ハヤハリ勇氣ヲ以テ斷行シナケレバナラヌノデゴザイマス、此ノ優遇問題ニ付テモ、院内ニ於テハ建議案或ハ決議案等ニマデ進ンデ居ルヤウナ情勢デアリマスカラ、ドウカ能ク御考慮下サイマシテ、勇氣ヲ以テ斷行サレ、左様ナ薄遇ノ諸君ヲ出來得ル限リ厚遇スルコトガ出來ルヤウニ、他ニ轉職シナイヤウニ、安心シテ職域奉公ガ出來ルヤウニ、此ノ優遇問題ノ御解決ヲ願ヒタイノデアリマス、之ニ付テ大臣カ次官ノ御答辯ヲ得タイノデアリマスケレドモ、居ラレマセスカラ、局長サンカラ御回答ヲ願ツテ置キマス

尙ホ大臣ガ居ラレマセヌノデ、司法保護ノ根本義ニ關スル問題、換言スルナラバ一定年限ヲ經過セル前科者ノ前科抹消ニ關スル御質問ヲ申上ゲテ、大臣、少クトモ次官ノ御答辯ヲ得テ置キタイノデアリマスカ、御見エニナリマセヌカラ、最後ノ質疑ニ關シマシテハ委員長ノ御計ラヒニ依ツテ、適當ナル機會ニ此ノ項ダケハ質問ノ御許シヲ得タイト思フノデゴザイマス、待遇改善ニ關スル案件ダケ御答辯ヲ御願ヒ致シタイト存ジマス

○坂野政府委員 書記以下司法部職員ノ待遇ニ關シテ、非常ニ御同情アル御配慮ヲ願ツテ居ルコトハ、吾々皆非常ニ感謝シテ居ル次第デゴザイマス、書記以下ノ俸給平均

ト云フコトニナリマス、最近御協賛ヲ得マシテ、其ノ俸給額ノ平均カラ行キマス、他ノ行政廳ニ居ル人々ト餘リ差異ガナイ程ニマデ行キマシタガ、實際ヲ申シマスト在職ガ長クナルノデゴザイマシテ、他ノ方面ダト五十前後ニハモウ高等官ニ轉出スル途モアリ、他ノ方ニ轉出スル途モアリマスガ、裁判所デハ六十近クニナツテヤハリ五級俸八十五圓デゴザイマス、其ノ邊ノ人ガ相當アルト云フヤウナ譯デ、永イ在職ニ對シテ平均俸デ擴ガツテ行キマスカラ非常ニ進級ガ遅イ、ソレガ爲ニ相當年配ニナツテ家族ヲ抱ヘナガラ、薄給デ苦シンデ居ルト云フ状態ニナツテ居ル次第デゴザイマス、吾々ハ此ノ事實ニ對シテ十分努力シテ改善ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○内藤(正)委員 一寸關聯シテ申上ゲタイト思ヒマス、只今ノ庄司君ノ御質問ニ對シテ局長ヨリ御答ヘガアリマシタガ、今ノ局長ノ御答辯ハ御尤モデアリマス、増俸若シクハ特別ナル給與ガ叶ヘ難イトシタナラバ、考ヘ方ニ依ツテ豫算モ餘ルモノガアルト思ヒマス、サウスレバ賞與ヲ以テ加減スルコトハ出來ナイモノデセウカ、給料ヲ増スコトハ恩給其ノ他ニ影響スルト思ヒマスガ、司法省ノ幹部ニハ近來洵ニ行政的手腕ガアリマシテ、凡ル問題ガ提供サレ、又凡ル新シイ施設ガ企テラレルコトニ依ツテ、昔日ニ比シコナリ豫算ヲ上手ニ御取リニナツテ居ルヤウデアリマス、ソコデ運營如何ニ依ツテ賞與デ加減スルコトガ出來ルノデハナイカ、唯理窟一點デ、諸官廳其ノ他ノ官吏ニ比シテ「レベル」ガ上ツテ大體接近シテ居ルト云フダケデハ得心ガ出來ナイト思ヒマス、私共夙ニ聞イテ居リマス、

一般官廳ニ比シ進級スルコト若シクハ地位ノ向上ガ遅イノデアリマス、朝鮮ハ兎モ角、日本内地デハ書記サンハ監督書記以外ハ先ゾ高等官ニハナレナイ、止リハ分ツテ居リマス、サウスレバ何かソコニ樂シミヲ持テ上ゲナイト、御承知ノ通り裁判所ハ近來相當良イ人ガ逃ゲテ行ク、ソコヤ一寸足止メスルニハ、アナタ方ガ腕ヲ揮ハレテ、而モ足ラヌ定員デ一パイマデ使ハレナイノデスカラ、殘ツタモノハ決算ニモ現ハレズ賞與ニ廻ハツテ居ルノデスカラ、少シ上ノ方ノ賞與ヲ減ス、斯ウ言フト又上ノ方ガ御機嫌ガ悪イカモ知レマセヌガ、何トカ加減ヲナサラスト、書記サンナドガ逃ゲハシマセヌカ、東京デモ、大阪デモ逃ゲル虞ガアリマス、ソレニ付テ將來加減シテ見タイト云フ御心持ガアナタニアリマスカドウカ、ソレハドウモ加減ガ出來ナイトアナタハ言ヒ切レマスカ、私ハ出來ルノデハナイカト思ヒマスガ、是ハアナタノ御答辯ハ全國ニ擴ガツテ傳ハリマスカラ、此處デ一ツ明言シテ戴キタイ、二人ノ局長サンガ居ラレルノデスカ、何トカナリマセヌカ

○坂野政府委員 只今ノ御尋ネデゴザイマスガ、是ハ私今其ノ局ニ居リマセヌノデ、明確ナコトハ申上ゲラレヌノデアリマスガ、賞與ニ廻シ得ナイカト云フ御話、實ヲ申シマス、司法省管内ハ事業ガ少イノデゴザイマシテ、ソレガ爲ニ事務費ト云フモノガ非常ニ他ニ比較シテ少イ、而モ判任官或ハ高等官一名ニ對シテ事務費幾ラト云フモノモ、ハツキリ申上ゲラレマセヌガ、他ニ比較シテ少イヤウデアリマス、サウ云フ關係デ俸給ノ殘カラ出ル賞與ノ額ハ、他ノ方面ト餘リ違ハヌヤウデアリマシテ、事務費カ

ラノ轉用ガ出來ナイ譯デアリマスカラ、事實上ノ賞與ト云フモノガ、他ニ比較シテ相當少イノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居リマス、此ノ點ハ吾々色々努力シテ居ル譯ナノデアリマスガ、ドウモサウ云フ方面カラ轉用スル資源ト云フモノヲ殆ド持ツテ居リマセヌノデ、隨分苦勞ヲシテ居ル譯デ、成タケ此ノ方面ニ力ヲ盡シタイト云フノデ、今度ノ豫算ノ中ニモ賞與ノ項目ニ増額ガ出テ居ルヤウデアリマス、サウ云フコトニ十分努力ハ致シマスガ、ドウ云フ事ヲスルカト云フコトハ、一寸私ハ其ノ局デハアリマセヌカラ、申上ゲ兼ネマス

○内藤(正)委員 ソレデハ私ヨリ一ツ提案致シマス、アナタ方ハ智慧ガ足ラナイト思ヒマス、ソレデ提案致シマス、全國ノ裁判所ニ於テ不動産登記其ノ他訴訟事務ニ使フ所ノ收入印紙ハ相當多額デアリマス、是ハアナタノ方デ調査ガ出來テ居ルト思ヒマス、現在ノ日本ノ法規ニ依リマス、切手ハ別ニ致シマシテモ、收入印紙ヲ以テ訴狀ニ貼ツテ居リマス、不動産登記亦然リ、是ハ遞信省ノ所管デアリマスガ、二分ト云フノデ、百圓ニ付テ二圓ノ拂戻ヲ法律デスルコトニナツテ居リマス、ガ切手賣捌所ハソレダケノ利益ガアル、三等郵便局モソレヲ取ツテ居ル、其ノ金額ハアナタノ方ノ肚ノ中デ分ツテ居ル筈デア、裁判所デ使ハレル收入印紙デス、ソレヲ各控訴院管下ノ監督書記ニ賣ラセル、裁判所ノ外マデ賣ツテハ大變デスカ、サウシテ歩引ヲ御取リニナツタラドウデスカ、何万ト云フ金ニナリマスヨ、アナタ方ハ一万ヤ二万ノ金ヲ取ツテ、私ハ是ダケノ豫算ヲ取ツタト云フ議會デ威張りナサラスデモ、苦ナシニ取レルデハアリマセヌカ、

要スルニ運營デス、サウ云フコトヲ御考ヘニナリマセヌカ、取レマス、而モ是ハ苦ナシニ當然拂戻ガ受ケラレル、法律ニ決マツテ居ル二分ハ受ケラレル、デスカラ百万圓使ツタラ二万圓デス、百万ヤ二百万ヂヤアリマセヌ、ソレカラ罰金ハ收入印紙ヲ納メルコトモ出來マス、頭モ使ヒヤウ、缺モ使ヒヤウデ切レタリ切レナカウツタリシマス、司法部デハ其ノ點ニ付テノ御考ヘハ如何デスカ、尤モ斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置キマス、會テ故人トナラレマシタ谷田サンが大坂控訴院長ノ時、私此ノ提案ヲシタ、所ガ谷田サンハ斯ウ云フコトヲ言ツタ、ソレヲヤルト裁判所構内ノ郵便局ガナクナル、其ノ儲ケヲ見テ郵便局ヲ置イテ居ルノダ、ソレハ名案ダケレドモ、ト仰シヤツタ、裁判所構内ノ郵便局ハ控訴院管内ニ依ツテハ、アル所モアリ、ナイ所モアリマス、マア其ノ位ノコトハ遞信省ノ方デモ我慢ヲ願フ、何十萬カ取レルノデスカラ、サウ云フコトヲ御考ヘニナルカナラナイカ、之ヲ一ツ伺ツテ置キマス、要スルニ私ノ言フノハ、司法部ノ方ノ考ヘ方ニ依ツテハ金ガ取レルデハアリマセヌカ、賞與ト云フモノハ其ノ歩引——歩引ト言フト語弊ガアルガ、ソレデ當然貫ヘル、其ノ先例ヲ申上ゲマス、大阪ノ郵便局アタリニアリマス、郵便局ノ構内ニ賣ツテ居ル所ガアル、アレニハ特別ナ會ガアル、私ガ收入印紙ヲ買ヒニ行ク、一万二万ト買フト喜ビマスガ、其ノ會計ハ特別ナ何々會ノ收入ニナツテ居ル、郵便局ノ吏員達ガ作ツテヤツテ居ル、何々會ト云フ會ノ眞偽ハ私ハ知りマセヌケレドモ、サウ云フコトヲ聞イテ居ル、裁判所モサウ難カシイコトヲナサヌデモ、特別ニ控訴院ノ

監督書記若クハ地方ノ監督書記ニ、司法會デモ宜シ、何カ會ヲ組織セシメテオヤリニナツテ、其ノ會ノ責任ト云フコトニナツタラ、法ノ裏ヲ潛ルヤウデスケレドモ、弊害ガナイデハアリマセヌカ、ソレヲ以テ賞與ノ方ニ廻シテヤレバ宜シイ、此ノ節ハ政府デモ特別ナ何々法人營團ト云フ名ヲ付ケタリシテ、隨分旨イコトヲ御考ヘナサルノデスカラ、一ツ智慧ヲ御擇リニナツテ、法人若シクハ法人ニアラザルモノヲ御拵ヘニナツテモ、マサカ是ガ爲ニ議會ノ問題ニナルヤウナコトハアルマイト思ヒマスカラ、私カラ一ツ其ノ案ヲ申上ゲテ置キマシテ、サウ云フコトモ一ツ考ヘテ見ヨウト云フコトニアナタ方ナサルカ、ヤハリサウデハナイ、私ハ元カラ裁判官デ來タカラ、武士ハ食ハネド高楊子、ソナコトハ嫌ダト仰シヤルカ、一カニ、一ツ御答ヘ願ヒタイ

○坂野政府委員 御意見ハ十分拜承致シマシタガ、色々ナ問題ガ合ンデ居ルコトデゴザイマス、此處デ、ドチラト云フ御返答ハ申上ゲ兼ネマス、能ク御趣旨ノ所ハ拜承致シマシタ

○古島委員 待遇改善ノ問題デ關聯シテチヨツト伺ヒタイ、私ハ是ハモウ久シイ間申上ゲテ居ツタノデスガ、世ノ中デ僅カバカリノ寄附ヲ致シマスルト、色々表彰ヲサレタリ、場合ニ依リマススト藍綬褒章等ヲ頂戴スルコトガアリマス、所ガ奇態ナコトニハ裁判所デハ裁判所ノ書記カラ今日マデ大變ナ寄附ヲ受ケテ居ツタ、何時ハ改正シタカ分ラヌガ、兎ニ角裁判所書記ノ筆墨料ト云フモノハ司法部ハ給與セヌノデス、僅カノ給料ヲ取ツテ居ル書記ガ、其ノ給料ノ中カラ自分ノ使フ筆墨ハ自分持チテヤル、是ハ

實ニ可哀想ナ話デ、他ノ役所ノ人達ガ萬年筆ヲ使フノトハ違フ、裁判所ノ書記ハ祐筆デアリマス、裁判所構成法ニ依ツテ居ル裁判所ノ構成員デアル、其ノ人ノ筆墨料ニ付テハ何カノ單行法ガ出テ居ルト云フコトデアル、私ハ鹽野サンノ時ニヨク話ヲシマシタ、鹽野サン、アナタハ決シテ件食ノ大臣デナイ、副總理ノヤウナ立場ニ於ケル大臣デアルカラ、アナタノ時代ニ改善シナイト、是ハ改善出來ナイデハナイカトマデ極論ヲ致シマシタ、能ク考ヘテ見ヨウト云フコトデアツタガ、何カ單行法デ別ニ出テ居ルガ爲ニ、是ダケハドウシテモ出來ヌト云フコトデアツタガ、今日デモ私ハチヨイノト裁判所ノ書記ニ聽イテ見マス、東京アタリハ多少何カノ名義デ貰ツテ居ルト云フコトデアルガ、場所ニ依ルト、千葉、埼玉其ノ他一般ノ地方裁判所管内ノ裁判所書記ハ、自分持チテ一切ヤラセラレテ居ルノデアル、俸給ヲ増シテ之ヲ改善スルト云フ思召ガアルナラバ、マサカ斯ウ云フ安月給取カラ、其ノ月給ノ中デ筆墨料ヲ拂ハセルト云フコトハ、洵ニ遺憾ナ事ダト思フ、ソレヲドウシテ改善セヌデスカ、之ヲ改善シテ別ニ給スルトカ何トカ云フコトニシナイト、實ニ氣ノ毒ダト思ヒマスガ、司法部ハ其ノ點ニ付テ確乎トシタ方針ヲ立テヤツテ居リマスカ、ソレトモ此ノ頃ハ全裁判所ノ書記ニ筆墨料ヲ別ニ給シテ居リマスカ、其ノ點ヲ承リタイ

テ見セテ、斯ウ云フ單行法ガ出テ居ルノデ、ドウモ裁判所ノ書記ダケハ困ルノダト言ハレタ、其ノ時分カラ改善スル意思アリト言明シテ居ルニ拘ラズ、何年掛ツテモ之ヲヤラスノハ誠意ガナイ、實際ハ給料ヲ増スドコロヂヤアリマセヌ、是ハ其ノ積リデ、司法大臣ガ送ツテモ何ガ送ツテモ、後ニ引繼イデヤル、之ヲ給與スルト云フコトダケハ志レズニ引繼イデヤツテ戴キタイト思フ、アナタ方ノ代ダケ過ギテシマヘバソレデ宜イノダ、次ニハ又後ノ者ガ質問ヲ受ケルノダカラ構ハヌト云フヤウナコトデハ困ル、實際ニ氣ノ毒ダカラ同情ヲ寄セテ、是ダケハ改善シテヤルト云フノデ、眞劍ニヤツテ戴キタイト思フノデアリマス、其ノ眞劍ニヤルト云フ御意思ガアルカ、本當ニ有難イ質問デアルト云フノデ、今モコチラノ質問ニ答ヘテ居ラレルガ、本當ニソレ程下級官吏ノ面倒ヲ見テヤラウト云フノデアルナラバ、是ダケハ第一着ニヤラナケレバナラヌト思フ、若シアナタノ時代デ駄目ナラバ、御送リニナル時ニ、必ズ之ヲ後ノ方ガ何トカスルヤウニ御盡力ヲ願ヒタイト思フ、御決心ヲ承リタイ

○坂野政府委員 筆墨料ヲ給スルヤウニナツテ居ルカドウカト云フコトハ、私一寸今承知致シテ居リマセヌ、ソレハ會計課デヤツテ居リマスノデ、私マダソレヲ承知シテ居リマセヌノデ、御答辯ヲドウシテ宜イカ分リマセヌ、暫ク留保シテ戴キタイト思ヒマス

○古島委員 宜シウゴザイマス

○飯村委員長 佐竹サン

○佐竹委員 先ツ民法中改正法律案ニ付テ御尋ネ申上ゲマス、御説明ニ依リマシテ提

案ノ御趣旨ハ能ク分リマシタ、其ノ意ノアル所ハ私共モ能ク了解サレルノデアリマスガ、併シ實際ノ問題トシテ之ヲ考ヘマスル時ニ、相當此ノ問題ハ深く検討ヲシ、誤リナキ運管ヲ期スル爲ニ、相當此ノ際考慮ヲシテ置ク必要ガアルノデハナイカト存ジマス點ニ付テ、聊カ御尋ネヲ申上ゲテ見タイト考ヘルノデアリマス、戴キマシタ別表中、離籍ノ届出ガ合計六百二十二件、其ノ中既ニ判決ト相成リマシテ、原告勝訴ニナリマシタ分十六件、斯様ニ相成ツテ居リマス、成程訴ヘテ起シテ、其ノ中ノ殆ト全部ガ原告勝訴ニナツタト云フ事實ヲ考ヘテ、他ニモ類例ガ澤山アルダラウ、隨テ此ノ六百二十二件ノ離籍届出ト云フモノニ付テハ、可ナリ深刻ナ色々ナ諸状態ガ含マレテ居ラダラウト云フ風ニ想像サレヌデモゴザイマセヌガ、併シ比率カラ申シマスルナラバ、六百二十二件中十六件デアリマス、必ズシモ殆ト其ノ大多數ガ御心配ニナツテ居ラレマスルガ如キ權利濫用ノ問題ニ該當スルモノトハ思ハレマセヌ、私共ガ實務家ト致シマシテ取扱ヒマシタ件數ノ中デ、一番問題ニナリマスノハ、其ノ家ノ戸主デアアル父デアアル者ト、其ノ息子ガ戰死ナリ殉職ヲ致シマシタ場合ニ、其ノ妻、即チ嫁トノ間ニ起リマス問題ガ、其ノ大多數ヲ占メテ居ル、而シテ其ノ嫁ハ多クノ場合離籍ヲ欲シマシテ、アノ家ニ居ルノハ厭ダ、相當纏ツタ一時金ヤ其ノ他ヲ貰ツテ出テ行キタイト云ツタヤウナ希望ヲ持ツテ居ル者ガ相當アツテ、親爺ノ言フコトヲ聽カナイデ他ニ居ヲ移シ、其ノ催告ニ應ジナイデ、遂ニ離籍セラレルト云フ向キガ殆ト大多數デハナイカト私共ハ見テ居リマス、斯ウツタ場合ニ、必ズ

シモ此ノ舉ゲラレテ居リマス六百二十二件ト云フモノノ大多數ガ權利濫用ニ依ル離籍デアルトハ、之ヲ考ヘルコトガ出來マセヌ、隨テ茲ニ現ハレテ居リマス十六件ニ付テ之ヲ見マシテモ、其ノ比率ノ上ニ於テハサウ大多數デハアリマセヌ、其ノ十六件ノ原告勝訴ノ事件ノ爲ニ、アトノ大多數ノ件數ガ權利濫用ニ依ルモノデハナイカト云ツタ疑懼ヲ抱イテ、而シテ裁判所ノ許可ナル煩瑣ナ手續ヲ經セシメ、而モ非訟事件ニ依ル裁判所ノ許可ヲ得ルコトヲ中心ト致シマシテ、例ヘバ親族會ノ招集ヲ致シマスルト、其事ヲ中心トシテ猛烈ナル争ヒガ起ル、許可ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトノ爲ニ、猛然立ツテ兩者ガ紛争ヲ續ケル、サウ云ツタ事態ガハ必ズシモナイデハナイノデアリマシテ、其ノ利害得失ニ付テハ深ク之ヲ検討スルト同時ニ、將來ノ運用ニ付テ現在ヨリ十分ノ心構ヘヲ持ツテ居ナケレバナラナイト思ヒマス爲ニ、果シテ六百二十二件ノ中ノ十六件ヲ見テ、權利濫用ヲ惧レテ、斯ウ云フ制度ヲ布イタ、斯ウ致シマスルトハ、將來此ノ事ノ爲ニ戸主權ニ本質ノナ變更ヲ來シ、家族制度ノ美風ヲ害スルノ虞ハナイデアラウカ、此ノ點十分考察ヲ加ヘテ置ク必要ガアルト存ジマス、先ヅ此ノ點ニ付テ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス

○坂野政府委員 御尋ネノ點デゴザイマスガ、此ノ臨時法制審議會ノ民法親族篇、相續篇中改正要綱ガゴザイマシテ、其ノ八ノ二ニ民法第七百四十九條第三項ヲ削除スルコト、斯様ニ決議ガアルノデスガ、要スルニ戸主ノ居所指定ニ應ジナカツタコトカラ離籍ヲスルト云フコトハ、是ハ認メナイコトニシヨウト云フ決議ガ既ニ出來テ居ルノ

方ハアリマスガ、吾々色々見マシテ、又裁判ノ實際ヲ見マシテ、全然削除スルノハ是ハ不當デハナイカ、ヤハリ或ル場合ニハ離籍モ出來ルト云フコトヲ殘シテ置カナケレバナラヌ、斯様ナコトカラ、正當ノ理由ナクシテ應ジナカツタ時ニ初メテ離籍ガ出來ルノデアルト云フコトニ殘シテ、斯ウ云フ規定ヲ設ケテ次第デアリマス、大體ノ只今ノ判決例、ソレカラ學者ナドノ考ヘテ居リマス所ハ、七百四十九條第三項ノ實際ノ效果ノ現ハレタモノハ不當ナルモノガ多イ、斯ウ云フ見方ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○佐竹委員 大正十四年ノ臨時法制審議會決議、民法親族編改正要綱八ノ、離籍及ビ復籍ニ關スル民法七百四十九條第三項削除ノ決議ニ付テハ、私共ノ調査致シマシタ範圍内デハ、戸主ガ戸主權ヲ濫用シテ離籍ヲスル虞ガアルカラ削除セヨ、斯ウ云フ趣旨デアルトハ私共ハ考ヘ居リマセヌデシタ、只今ノ局長ノ御答辯ニ依レバ、ヤハリ是ガ關係アルカノ如ク見ラレマスケレドモ、私ハ其ノ點ニ付テハ、是ハ腑ニ落ちナイノデアリマス、私ハ別途ノ理由ヨリ、一家ヲ主宰致シマス者ガ家族ヲ外ニ抛リ出シタト云ツテモ、是ハ出來ヌデハナイカ、例ヘバ日本ノ國民ヲ放逐シテ外ニ持ツテ行ク譯ニハ行カヌト同様ニ、一家内ニ居ル者ヲ、ドノヤウナ事由ガアラウトモ、ソレヲ抛リ出スト云フコトハ出來ナイデハナイカト云フ意味合ニ於テ、此ノ離籍ノ規定ヲ除ケト言フナラバ是ハ分ル、併シ今日提案ヲナサツテ居リマスノハ、離籍權ノ濫用ニ因ル所ノ弊害防止ト云フコトガ中心デアアル、今次事變ニ對スル所ノ非常對策トシテノ御提案デゴザイマスノデ、私ハ大正十四年ノ臨時法制

審議會決議ニ於ケル第八項ノ其ノ趣旨ヲ以テ之ヲ理解スルコトニ實ハ苦シムノデアリマス、併シ司法省ニ於カレマシテ、根柢的ニ別途ノ理由ヨリ、ソレハモウ如何ナル場合デモ離籍スルコトハ出來ナイノデアルト云フ御趣旨ヲ楯ニテ取リニナルナラバ、是ハ是デ一貫サレテ邁進サレマスコトニ付テ、私共理論ノ一貫性ハ十分敬意ヲ以テ見ル者デアリマスガ、遺憾ナガラ今回ノ提案ハ、斯ウ云ツタ此ノ審議會ノ決議ニ於ケル理由トハ全ク違フ別個ノ目的ト趣旨ニ依ツテ提案サレタト考ヘマスガ故ニ、今次事變ニ伴ツテ起リツツアル所ノ幾多ノ問題ヲ、此ノ法律ニ依ツテ將來處理スルニ付テハ、此ノ際如何ニ之ヲ爲スベキカ、其ノ審理ニ當ツテ十分考察ヲ加ヘテ置ク所ノ必要ガ私ハアルデハナイカト斯様ニ考ヘマスガ故ニ、御尋ネヲ申上ゲタノデゴザイマス

私ハ此ノ際御尋ネヲ申上ゲテ置キタイノハ、權利濫用ヲ防止致シマス爲ニ、裁判所ニ許可ヲ申請致シマシテ、許可ニナリマシテ離籍致シマシタ時ニ、其ノ後ニ尙ホ其ノ根柢ニ於テ、ソレハ權利濫用デアルト云フコトガ分リマシタ時ニ、其ノ許可ヲ得テ離籍ヲ致シテ居リマス事件ニ付テ、更ニ離籍無効ノ民事訴訟ヲ提起シ、サウシテ根柢ヨリ離籍ヲ無効トスルコトガ出來ルデアリマセウカ、此ノ制度ガ出來マシタ以上ハ、サウ云フコトハ絕對ニ之ヲ許サナイト云フ御精神デアリマセウカ、承ツテ置キマス

○坂野政府委員 御尋ネノ點デゴザイマスガ、此ノ離籍ヲ或ル程度止メタイ、ソレガ、今度ノ事變上特ニ必要デアルト申シマスノハ、離籍ハ御承知ノヤウニ簡單ニ届出ダケデ、受理サレレバソレデ離籍サレシマフ、サ

ウ致シマスト特別賜金、ソレカラ扶助料ハ直チニ其ノ離籍サレタ者ニ支給サレナイコトニナル、ソコデ一應裁判所デ止メテ置イテ、本當ノ内容ヲハツキリ分ラセテ——其人ヲシテ直チニ扶助料或ハ特別賜金ヲ戴ケナイト云フヤウニシテシマハナイヤウニスルノガ本當デハナイカ、斯ウ云フコトデ動イテ居ル譯デアリマス、所デ只今ノ非訟事件手續ニ依リマシテ離籍ガ許可ニナツタ所ガソレガ權利濫用デアツタト云フコトデ訴訟ヲ起シタト云フコトニナリマスレバ、私共ハヤハリ訴訟テ争ヘルモノト考ヘテ居リマス、無効ノ裁判ハ求メ得ルト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○佐竹委員 今回ノ改正ニ於ケル字句ノ用ヒ方ニ付テハ、斯様ニアリマス、若シ家族ガ正當ノ理由ナクシテ其ノ催告ニ應セサルトキ、是ハ家族ノ側カラ御覽ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ規定ノ仕方ヨリ致シマスナラバ、所謂家族權ナルモノヲ認メテ、戸主權ニハ本質的ナ制限ヲ加ヘタルニアラズヤトノ氣持ガサレルノデアリマス、私ハ今茲ニ斯ウ云フ實例ヲ耳ニ致シマシタ、戸主ノ長男ガ官吏ヲ奉職致シマシテ、任地ニ於テ殉職ヲ致シマシタ、其ノ長男ニハ妻モアレバ子供モゴザイマス、長男ガ死亡致シマス同時ニ、其ノ父即チ戸主ガ迎ヘニ參リマシテ、遺骨ヲ抱イテ任地ヲ引拂ツテ郷里ノ農村ニ歸ツテシマツタノデアリマス、其ノ葬祭ガ濟ンデ後ニ、其ノ妻、即チ戸主ノ嫁ト子供、即チ戸主ノ今度ノ推定家督相續人ニナリマス孫、此ノ嫁ガ子供即チ孫ヲ連レテ嫁ノ里方ニ歸ツテ行ツテ、其ノ嫁ハ獨立ノ生計ヲ營ミタイト云フ希望ノ下ニ、農村カラ四五里モ離レマシタ都市ニ出テ參

リマシテ、其處デ一家ヲ借りテ獨立ノ生計ヲ營ンデ居リマシタ、ソコデ戸主タル父ト致シマシテハ、相當自分モ老齡デアリシ、家ノコトモ困ルノダカラ、息子モ死ンダコトデハアルシ、是非家ヘ歸ツテ來テ手傳ヒヲシテ貰ヒタイ、又將來家ノ柱トモナツテ行クベキ孫ノ顔ヲ毎日見タイ、愛護シテ教育ヲシテ行キタイ、又嫁ニハ一時賜金ヲ見舞金や保險金等ヲ殆ド一万圓近イ大金ガ懐ロヘ入ツテ居ルノデ、若シモ此ノ若後家ヲ獨リデ住マハシテ置クト云フコトニナルト、ドンナ間違ヒガアツテモナラヌシ、父母ト致シマシテハ監督モシタイ、是非一ツ家ヘ歸ツテ共同ノ生活ヲシテ貰フヤウニト云フコトヲ懇請シタ、スルト嫁ノ方デハ、夫ノ在世中デモ父サントハ別居ヲシテ居ツタデハゴザイマセヌカ、ソレデ私ガオ手傳ヒヲ致シマセズトモ、サウ御困リニハナラヌ管デアル、殊ニ妹モ居ルコトデハアルシ、私ハ別個ニ獨立ノ生計ヲ立テタイ、殊ニ子供ガ病弱デアアルノデ、田舎ニ居ツテハ十分ノ養生ヲサセルコトモ出來ヌ、又完全ナル教育ヲサセルコトモ出來ヌカラ都市ニ居ツタ方ガ工合ガ好イ、何トカシテ私ハ其ノ扶助料ヲ食込マナイヤウニ、自分デ獨立ノ生計ヲヤツテ行キタイカラ、私ハ是非トモ別居ヲサシテ貰ヒタイト云フ返答ヲ致シマシタ、父ノ云フコトモ嫁ノ云フコトモ無理ガゴザイマセヌ、ドツチニモ正當ナル理由ガアルノデアリマス、ドツチガ惡イトハドウモ判斷ガ付キマセヌ、斯ウシタ場合ガ殆ド其ノ件數ノ大多數ヲ占メルモノト思ハナケレバナリマセヌ、斯ウ云フ時ニ此ノ問題ハ結局色々ト相談ヲ致シマシタケレドモ、嫁ノ方ガ聽キマセヌノデ、現在ノ法律ト致シマシ

テハ、父母ノ云フコトヲ聽カヌ嫁ト云フモノハ怪シカラヌト云フノデ、父モ少々癩ニ觸ツタト見エテ、其ノ戸主ハ遂ニ催告ヲ致シマシタ結果離籍ヲ致シマシタ、ソレガ裁判沙汰トナリマシテ、裁判所ヘ現ハレテ參リマスルト、直觀的ニ嫁イデメト之ヲ感ジラレタノカ、殆ド審理ヲ進メズニ人事調停ニ之ヲ移シマシテ、人事調停デハ可ナリ其ノ戸主ガオ叱リヲ受ケテ居ルヤウデアリマス、所ガ現行ノ民法ノ解釋ヨリ致シマスルナラバ、サウ云ツタ場合、息子モ死亡シタノデ、サウシテモウ父母共六十ヲ越エテ居ル、田圃ヘ出テ一生懸命働イテモモウ一人前働ケナイ、嫁ガ一人ニナツタカラ是非歸ツテ來テ、セメテ御飯炊キ位デモ手傳ツテ貰ヒタイ、孫ノ顔モ毎日見タイ、大金ヲ持タシテ獨リデ遊バシテ置クト云フコトニナルト間違ヒガアツテモ困ル、監督モシタイ、是ハ戸主ノ側カラ見テ相當ノ理由デアルト私ハ考ヘマス、ケレドモ、其ノ嫁ノ側カラ申シマスル所ノ、子供ノ養育トカ、私モ出來ルナラバ獨立ノ生計ヲ營ンデ御迷惑ヲ掛ケヌヤウニ、斯ウ云ツタ希望ヲ述べルト云フコトモ、サウ無茶デアアルトハ思レマセヌ、斯ウ云ツタ時ニ現行民法ノ上カラ考ヘマスルナラバ、是ハ問題ナク戸主即チ父ノ言フコトヲ聞カナイ子供ト致シマシテハ、出テ行ツテ貰フヨリ外ニハナイ、民法ト致シマシテハ、我が國ノ家族制度ヲ持續致シマス限リ、一家ヲ統制主宰スル爲ニハ、戸主、父ニ絕對權ヲ與ヘテ、其ノ一家内ノコト、一家族間ニ於ケル出來事ハ其ノ戸主ノ裁斷ニ之ヲ任せ、又嫁ガサウ云ツタ時ニ假令苦シクアラウトモ、泣イテ其ノ父ノ言フコトニ從フ、斯クシテコソ一家ガ統制サレ、本

ガ聽キマセヌノデ、現在ノ法律ト致シマシ

テハ、父母ノ云フコトヲ聽カヌ嫁ト云フモノハ怪シカラヌト云フノデ、父モ少々癩ニ觸ツタト見エテ、其ノ戸主ハ遂ニ催告ヲ致シマシタ結果離籍ヲ致シマシタ、ソレガ裁判沙汰トナリマシテ、裁判所ヘ現ハレテ參リマスルト、直觀的ニ嫁イデメト之ヲ感ジラレタノカ、殆ド審理ヲ進メズニ人事調停ニ之ヲ移シマシテ、人事調停デハ可ナリ其ノ戸主ガオ叱リヲ受ケテ居ルヤウデアリマス、所ガ現行ノ民法ノ解釋ヨリ致シマスルナラバ、サウ云ツタ場合、息子モ死亡シタノデ、サウシテモウ父母共六十ヲ越エテ居ル、田圃ヘ出テ一生懸命働イテモモウ一人前働ケナイ、嫁ガ一人ニナツタカラ是非歸ツテ來テ、セメテ御飯炊キ位デモ手傳ツテ貰ヒタイ、孫ノ顔モ毎日見タイ、大金ヲ持タシテ獨リデ遊バシテ置クト云フコトニナルト間違ヒガアツテモ困ル、監督モシタイ、是ハ戸主ノ側カラ見テ相當ノ理由デアルト私ハ考ヘマス、ケレドモ、其ノ嫁ノ側カラ申シマスル所ノ、子供ノ養育トカ、私モ出來ルナラバ獨立ノ生計ヲ營ンデ御迷惑ヲ掛ケヌヤウニ、斯ウ云ツタ希望ヲ述べルト云フコトモ、サウ無茶デアアルトハ思レマセヌ、斯ウ云ツタ時ニ現行民法ノ上カラ考ヘマスルナラバ、是ハ問題ナク戸主即チ父ノ言フコトヲ聞カナイ子供ト致シマシテハ、出テ行ツテ貰フヨリ外ニハナイ、民法ト致シマシテハ、我が國ノ家族制度ヲ持續致シマス限リ、一家ヲ統制主宰スル爲ニハ、戸主、父ニ絕對權ヲ與ヘテ、其ノ一家内ノコト、一家族間ニ於ケル出來事ハ其ノ戸主ノ裁斷ニ之ヲ任せ、又嫁ガサウ云ツタ時ニ假令苦シクアラウトモ、泣イテ其ノ父ノ言フコトニ從フ、斯クシテコソ一家ガ統制サレ、本

ガ聽キマセヌノデ、現在ノ法律ト致シマシ

當ニ家族制度ト云フモノガ維持サレテ行クノダト考ヘテ居リマス、此ノ現行ノ民法ノ規定ノ如クニ「若シ家族ガ正當ノ理由ナクシテ」トアツテ、父側ノ正當ノ理由ヲ言フコトナク、家族側ノ正當ノ理由ヲ以テ、父側ノ正當ノ理由ノモノヲ排除シ得ルモノト云フコトニ相成リマスレバ、是ハ全ク家族權ヲ認メテ戸主權ニ掣肘スルモノナリト云フ氣持ガ、一面起ラザルヲ私ハ得ナイと思フ、私ハ此ノ規定ノ改正ハ、單ナル形式ノ問題、單ナル許可ヲスルト云フコトニ依ツテ、單ニ之ヲ監督スルト云ツタヤウナモノデナシニ根本的ニ或ル程度家族權ヲ認メテ戸主權ニ掣肘ヲ加ヘルト云フ、本質的ナ意味合ヒガ含マレテ居ルノデハナイカ、若シサウダト致シマス、我ガ國ノ醉風美俗ノ根幹ニ對スル問題ト致シマシテ、假ニサウマデ強ク申サズトモ、是ガ運籌ノ上ニ於テ相當考慮シナケレバナラス、先程同僚カラ質問サレタ時ニ申シテ居ラシシヤウニ、其ノ戸主側ト家族側ト兩者ノ言ヒ分ラ公平ニ見テ、相當是ハ考ヘテヤラネバナラスト云フ氣持ガ致シマス、若シ家族ガ正當ノ理由ナクシテト云フ風ニ規定ヲ致シマシテ、即チ戸主側カラ戸主ノ戸主權ヲ認メテ、其ノ戸主權ノ發動ニ對スル制限ヲ、家族側ノ正當ノ理由ニ依ツテ其ノ標準ヲ定メルト云フコトニ相成リマスコトハ、只今私ノ申上ガマスルガ如キ處ガソコニアリマスマイカ、此ノ點ヲ私承ツテ置キタイト考ヘマス

○坂野政府委員 御尋ネ「家族ガ正當ノ理由ナクシテ其催告ニ應ゼザルトキ」斯ウアルカラ、家族ノ立場カラ正當ノ事由ヲ判斷スルダケデハ十分デナイ、戸主ノ方ノ正當ノ事由モ判斷シナケレバナラスデヤナイ

カ、斯ウ云フ御尋ネデゴザイマスガ、裁判所ガ此ノ許可ヲ致シマス時ニ「家族ガ正當ノ理由ナクシテ其催告ニ應ゼサル」ト、斯ウアリマスケレドモ、双方ノ今仰シヤツタヤウナ總テノ事情ヲ能ク斟酌致シマシテ、果シテ此ノ家族ヲ離籍スルノガ相當デアアルカドウカト云フコトヲ判斷シテ、此ノ許可ヲ與ヘルコトニナルノデゴザイマス、ソレデ言葉ガ或ハ足ラヌノデハナイカト云フ御意見デアリマスガ、吾々ノ考ヘト致シマシテハ、大體ニ於テ此ノ民法ハ遠クナイ將來ニ於テ全般的ニ改正ニナル次第デアリマス、其ノ際ニハ字句モ十分變ヘテ行キタイと思フノデアリマスガ、差當リハ成タケ民法ヲ餘リイデラナクテ、サウシテ目的ヲ達スル方向ニ進ンデ行キタイ、斯様ナ考ヘ方カラ斯ウ云フ書キ方ヲ致シタノデアリマスガ、此ノ書キ方ヲ致シマシテモ、大體今マデノ權利濫用ノ觀念ハ十分判例等ニ現ハサレテ居ルノデアリマシテ、裁判所ト致シマシテハ双方ノ立場ヲ能ク調査致シマシテ、サウシテ離籍スルノガ相當デアアルカドウカト云フコトニ觀點ヲ置イテ、適正ナ判斷ヲスルダラウト考ヘテ居ル譯デアリマス

○佐竹委員 諒承致シマスガ、運籌ノ上ニ於テハ一ツ御考慮ヲ願ヒマス、大體嫁ノ方ニ非常ニ同情ヲ持チマシテ、嫁ノ方ガ何カ訴ヘテ出マス、頭カラ是ハ嫁イデメデアルト云フ風ヲ氣持ヲ以テ掛リマスコトガ、寧ロ通例デハナイカト私見マスケレドモ、實際ノ實務ノ衝ニ當ツテ居リマス者ハ、却テ逆効果ヲ來ス虞ガアルノデハナイカト云フ點ヲ、一應憂ヘザルヲ得ナイ事情ニアリマスコトモ、十分御留意ノ上ニ、相當此ノ法律案ガ通リマシタ後、之ヲ運籌致シマスコト

ニ付テハ、司法省首腦部ト致シマシテ十分ノ御考慮ヲ願ヒタイト考ヘマス
其ノ次ハ戶籍法改正ニ關スル點ニ付テ御伺ヒ申上ゲマス、贖本ト抄本トノ區別ノ標準、竝ニ法律上ノ效力ニ差異ガアルヤ否ヤト云フ點ヲ御伺ヒ致シマス

○坂野政府委員 御尋ネ贖本ト抄本デゴザイマスガ、贖本ハ原本其ノ儘ノ寫シデアルト云フコトガ贖本ト考ヘテ居リマス、抄本ハ其ノ他ノ一部省略シタ寫シ、斯ウ云ウヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、贖本ト抄本トノ法律上ノ效力ト云フコトハ、是ハ各法律ニ贖本ト云フコトヲ規定シテ居リマスレバ贖本、抄本デモ足ルト云フコトデアリマスレバ抄本デ宜イ譯デアリマスガ、實際上ニハサウ云フ法律上ノ根據モ何モナクシテ、工場、會社等ハ唯贖本ヲ出セト云フ風ニ言ツテ居ルノデアリマシテ、抄本デモ差支ナイ場合ガ非常ニ多イト思ヒマス、其ノ場合ハ抄本ト之ヲ書イテ貫ヒタイト云フコトヲ司法次官カラモ、或ハ内閣書記官長カラモ、數度ノ通牒ガ出テ居ルノデアリマスガ、相變ラズ贖本ヲ出セト云フコトニナツテ居リマシテ、戶籍役場ニ非常ニ仕事ガ多クナルノデ、斯様ナ規定ヲ置イタ譯デアリマス

○佐竹委員 贖本中其ノ申請者ノ要求ニ應ジマシテ一部ノ記載ヲ省略シマシタ時ニ、其ノ一部分ノ記載ヲ省略シタル旨ヲ記載スルデアリマセウカ、是ハ記載シナイノデゴザイマセウカ

○坂野政府委員 請求ニ依ツテ省略シタコトヲ記載シテ渡シデアリマス

○佐竹委員 サウナリマス、其ノ請求者ガ一部ノ記載ヲ省略シテ請求シタ抄本トド

ノ點ニ於テ區別サレルデゴザイマセウカ
○坂野政府委員 此ノ法律ガ出テ居リマス、其ノ場合ニハソレハ抄本ナンデアリマス、所ガ此ノ法律デ其ノ除籍者ニ關スル記載ヲ省略シタモノモヤハリ贖本ダ、斯ウ法律デ規定致シマスカラ、ソコデ初メテソレダケノ部分ハ贖本ニナツテ來ル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス

○佐竹委員 是ハ御質問ト云フヨリハ、御願ト云フ方ガ適當カモ分リマセマスガ、郵便ニ依ル請求デゴザイマス、郵便ニ依ル請求ヲ致シマス、最近中々送ツテ參リマセヌ、近クデゴザイマスレバ、其處ヘ參ツテ、待ツテ居ツテ取ツテ參リマスガ、五十里モ百里モ遠方ノ所ハ到底出ラレマセヌ、隨テ郵便デ請求致シマス、十日モ二十日モ、長イノニナルト一月モ送ツテ呉レマセヌ、ヤンヤト督促シテモ送ツテ來ナイ、其ノ結果例ヘバ假差押、假處分、或ハ願書ヲ提出スルト云フヤウナ、期限付ノモノハ忽チドウニモナラナクナツテ來ル、一面事務簡捷ノコトヲ御考ヘニナリマスナラバ、之ニ件ウデ、其ノ要求ガアツタ時ニハ一定ノ期間内ニハ必ズ之ヲ送付スルコトニシテ戴キタイ、是ハ事務繁劇ノ折柄困難ダト仰シヤルカモ知レマセヌケレドモ、一面事務簡捷ニ關スル斯ウ云フ御提案ガアリマシタ以上ハ、之ニ件フ國民ノ要求ニ應ヘ得ルヤウニ持ツテ行クト云フコトガ御趣旨デアラウト考ヘラレマスノデ、此ノ點ニ付テ十分對策ヲ御立テ願フト申シマスカ、或ハ通牒其ノ他ヲ發シテ載ク等ノ方法ニ依リマスルカ、要求サレタナラバ一定ノ期間内ニ必ズ送付シナケレバナラスト云ツタヤウナ氣持ヲ、取扱者ニ持ツテ戴キマスルヤウニ御願ヒ出來ナイ

モノデゴザイマセウカ

○坂野政府委員 其ノ點ハ郵便料ヲ納付シテ請求シタ時モ直チニ送付スベキモノデアリマシテ、色々ノ事務ノ都合上遅レタノデアリマセウカ、將來サウ云フコトノナイヤウニ、成タケ御趣旨ニ副フヤウニ色々ノ手段ヲ盡シタイト考ヘマス

○佐竹委員 民事訴訟法中改正法律案ニ付テ一ツ御尋ネ致シマス、競賣ノ條件ヲ變更スルコトノ出來ル旨ノ追加規定ガアリマス、「職權ヲ以テ本款ニ掲ケタル賣却條件ヲ變更スルコトヲ得」賣却條件ヲ變更スルコトヲ得ト云フノデ競賣ノ形式——競賣ト云フノハ語弊ガアリマスガ、例ヘバ動産ニ於テハ競賣、不動産ニ於テハ競争入札其ノ他、所謂競賣ノ形式ハヤハリ持續サレルノデゴザイマセウカ

○坂野政府委員 持續スル考ヘデ居リマス
○佐竹委員 サウ致シマス、先程御説明ノ一部ニアリマシタガ、茲ニ例ヘバ公定價格ガ十圓ト定マツテ居リマス品ニ付テ、十五圓ニ入札ヲシ、十四圓ニ入札ヲシ、十三圓ニ入札ヲスル三名ノ者ガアツタ時ニ、誰ニ落スコトニナリマセウカ

○坂野政府委員 其ノ場合ニハ、公定價格ヲ賣却條件ノ一ツト致シマシテ、十圓ト決メテ居リマスカラ、誰ニモマダ落チナイコトニナツテ居リマス

○佐竹委員 其ノ時二十五圓ガ高カツタカラト云フノデ、ヤハリ其ノ十五圓ノ入札者ニ十圓ヲ落スト云フコトニナルノデハゴザイマセウカ、サウハナリマセウカ

○坂野政府委員 只今ノ御尋ネノ、十五圓ノ申出ニ十圓ヲ落スト云フコトハ一寸困難

デヤナイカ、ソレデ公定價格十圓ト定メテ居リマシテ、皆ガ十圓ト云フ申出ヲスルコトニナツテ、其ノ二人ノ間デ抽籤ヲ定ムル、斯ウ云フコトニ賣却條件ヲ變更スルコトニナツテ居リマス

○佐竹委員 サウスルト、是ハ兎ニ角公定價格以上ニ入レテ置ケバ必ズ籤引ヲスル權利ノ申入ツテ参リマスカラ、皆猛烈ニ競ツテ買ハウト云フ氣配ヲ作りマス、此ノ氣配ヲ作ルト云フコトハ、私ハ或ル民間ノ市場ノ法律顧問ヲヤツテ居リマス關係ヲ知ツテ居リマスガ、非常ニ是ハ弊害ヲ醸スノデアリマス、ソレデ入札ニハ數ト云フモノガ要リマス、其ノ數ヨリ餘計ニ上ニ出タ者ニハ許サナイ、餘リ下ノ者ニモ許サナイ、其ノ數ニ殆ド密着シタ關係ノ者ダケニ之ヲ許ス、サウデナイト、餘計ニ買煽ル氣配ガ出マスト云フト、市場ニ出シテ居ツテモスウツト引込メテシマフ、サウシテ家ニ持ツテ歸ツテ密カニ闇取引ヲスル、是ガ助長サレテ市場ノ機能ヲ害シテ居ル事實ガアルノデアリマス、斯ウ云ツタヤウナ事例ヲ多ク見聞サセラレルノデアリマス、斯ウ云ツタ時ニ、ソレナラバ皆ガ一定ノ料金デドシノ入札ヲシテ置キサヘスレバ、入札ノ權利ヲ持ツ、サウスルト入札ノ權利ヲ持ツ者ハ、是ハ先程ノ局長ノ御答辯ニ依リマス、或ハ談合其ノ他云々ト云フコトニ依ツテ、取締ラスルコトガ出來ルト御考ヘニナツテ居ラルルカモ知レマセウカ、私ノ見マスル所ニ依レバ、サウ云ツタ時ニ一定ノ價格以上ノモノガ皆出揃ヒマシテ、サウシテ入札ヲ抽籤ニ依ツテ一人ノ者ガ得ル、所ガ其ノ丁度當籤ヲ致シマシタ人ガ權利ノ讓受ヲ致シマス、併シ競賣ヲスル時、當籤ヲ致シマス

時マデニハ何等ノ工作ヲ加ヘテ居リマセウカ、先程御答辯ヲナサツテ居ラレマシタ刑法ノ一部改正ニ依ル所ノアノ條文ニ依ツテ、之ヲ取締ルコトハ困難デハナイカ、所謂談合ト云フモノニ當嵌マルカドウカト云フコトニ、私疑點ヲ持ツノデアリマスガ、斯ウ云ツタ場合デモ取締ガ出來ルノデゴザイマス

○坂野政府委員 先刻私ノ申上ゲ方ガ足ラナカツタノデ、或ハ誤解ヲ戴イタノデヤナイカト思フノデアリマスガ、私ガ申上ゲマシタノハ、十圓ノ公定價格デアリマスレバソレ以上ノ申出ハ無効デアル、ソレニ落サセナイ、斯様ニ申上ゲタノデアリマス、十圓ノ申出ガ出揃ツタ時ニ、其ノ中デ抽籤ヲ決メル、斯様ニ致スノダ、斯様ニ申上ゲタ積リナノデアリマス、言葉ガ足ラズニ、ソレガ徹底シナカツタヤウデアリマスカラ、更ニ申上ゲテ置キマス

○佐竹委員 サウ致シマス、殆ド是ハ公定價格ナラ公定價格ヲ超エタモノハ全部無効ト致シマス、ソレハ抽籤ヲ致シマス權利モナクナル譯デゴザイマス

○坂野政府委員 左様ニ考ヘテ居リマス
○佐竹委員 ソレナラバ分リマシタ、サウスルト一定ノ價格以上ニ入レルト、モウ抽籤ヲスル資格モナイノダカラ、ソレデゴザイマシタナラバ、低物價政策ヲ堅持シ、或ハ高物價政策ヲ煽ルガ如キ空氣ヲ作ラナイデ済ムコトハ、私ハ了承出來マス、併シサウ云フコトニナリマス、是ハ一體競賣制度ト云フモノハ、自ラ廢止サレタ結果ニ事實上ナルノデヤナイノデゴザイマセウカ

○坂野政府委員 事柄ニ依リマシテハサウ云フ結果モ起ルノデヤナイカト考ヘマス

○佐竹委員 殆ド最近ニ於ケル物ニ付テハ、大概ノモノニ公定價格、或ハ公定價格ノナイモノニハ停止價格ト云フモノガアルノデス、ソノナ何等ノ制限ヲ受ケテ居ラヌモノハ、先ヅ一品モナイト云ツテモ宜イ、少クトモ九・一八ノ「ストップ」令ダケハ適用ガアル譯デス、サウスルトソレ以上競賣ト云フコトハ一切出來ナイ、或ル一定ノ釘付ケサレタ範圍内ニ於テト云フコトニナリマス、ソレハモウ希望者ハアルニ決マツテ居リマスカラ、抽籤ヲスル、サウスルト此處ニ職權ヲ以テ本款ニ掲ケタル賣却條件ヲ變更スルコトヲ得トアリマスゲレドモ、殆ド是ハ無用ノ規定ニナツテシマフノデヤナイカ、却テ此ノコトガ又今度ハ逆ニ闇取引ヲ助成スル所ノ、一ツノ種ニナルノデヤナイカト云フコトヲ懼レルノデゴザイマスガ、如何デゴザイマセウカ

○坂野政府委員 只今マデノ實際ニ於キマシテハ、公定價格以上ニ申出ルト云フ者ハゴザイマセウカ、大體此ノ下デ競賣ヲシテ居ルヤウナ狀況ノデアリマス、將來御議論ノヤウナ場合ガ出テ參ルカト思ヒマスガ、競賣ノ實際ニ付キマシテハ餘リナイヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ今ノハ大體不動産ノコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、動産ニ付キマシテハ、是ハ任意賣却ガ色々出來ルト云フヤウナコトガアリマスノデ、此ノ點ハ一寸違ヒマス、御諒承ヲ願ヒマス

○佐竹委員 陪審法ニ付テ一言御尋ネヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、陪審法ニ付テ是ガ段々廢マツテ行ク状態ニ至ツテ居リマスコトハ、是ハ事實デアリマスガ、是ハ率直ニ申上ゲマスナラバ、先程古島サンカラ仰シヤツテ居ラレマシタヤウナ事由、竝ニ刑事

局長が御答辯ニナツテ居ラレマシタヤウナ
コトガ、段々衰へテ參リマス主タル原因デア
ル、即チ陪審事件ニ對シテ控訴ヲ禁ジテアル
ト云フヤウナコトモ、是ハ確カニ事實デア
ル、重要ナル一ツノ原因デアルト云フコトハ、

私共モ了承致シマス、併シ私共ノ經驗致シ
マシタ限リデハ、陪審ヲ請求シマシタラ、
其ノ辯護人ハアレハ賣名デヤツテ居ルト言
ハレル、ソレカラ私共ノヤリマシタ陪審事
件ナンカハ、ドウ云フ空氣デゴザイマスカ
知りマセヌガ、モウ其ノ陪審員ノ答申ガア
リマシタラ、即決デピシツト判決ガアリマ
シテ、而モ求刑通り、何ダカ非常ニ陪審法
ト云フモノヲ運用スルコトヲ、實際ノ裁判
官ハ餘リ御好ミニナツテ居ラレナイヤウナ
氣持ガサレルノデゴザイマスガ、司法當局
ト致シマシテハ、恐ラク左様デナカラウト
思ハレマス、今少シク之ヲ運用スルナリ、
或ハ停止スルナリ、其ノ他ニ付テモモト此
ノ法律ヲ作リマシタ時ノヤウナ熱意サヲ以
テ、之ヲ適當ニ其ノ法制ヲ變ヘテ行クトカ、
停止スルトカ、或ハ廢止スルトカ致シマシ
テ、其ノ熱意ヲ以テセラレマスナラバ、又
自ラ別個ノモノガ出テ來ルノデヤナイカト
云フ氣持モサレマス、此ノ陪審法ノ運用ノ
問題ニ付テハ、先程廢止並ニ一時停止ノ議
論ガ出マシタガ、私共ハ今少シク熱意ヲ以
テ致シマスナラバ、此ノ利用效果等ハ相當
ノモノニナルト思ヒマス、又實際上是ガ爲
ニ法廷モ立派ニ出來上ツテ居リマス、是ガ
爲ニ可ナリノ費用モ要求セラレテ居ル筈デ
ゴザイマス、ソレヲ何モ陪審法ノ其ノ法律
施行ニ付テ直接利用セラルコトナシニ、
他ノ方面ニ利用セラルヤウナ結果ニ陥ル
ト云フコトハ、洵ニ私ハ遺憾デハナイカト

存ジマス、是ガ廢止ニ付テモ、或ハ停止
ニ付テモ、消極的ナ考ヘデナシニ、一ツ御
考慮ヲ願ヒタイト存ジマスガ、如何デゴザ
イマスカ

○大竹政府委員 陪審員評議ニ付セラルル
事件ガ段々少クナツテ行キマス理由ハ、
自白ガアレバ法律上當然陪審ニ掛ラナイ、
其ノ他ニ被告ガ辭退スレバ掛ラナイ、斯ウ
云フコトニナツテ居リマシテ、實際ノ實情
ヲ見マスト、自白ニ依ツテ法律上當然掛ラ
ナクナルノガ非常ニ多イノデアリマス、又
裁判所ノ方デ決シテ之ヲ消極的態度デ臨ム
譯デハアリマセヌケレドモ、被告ノ方デ
辭退シテシマヒマスノデ、結局陪審ニ掛ラ
ナクナツテ居ルコトト存ズル次第デアリマ
ス

○飯村委員長 ソレデハ明後十九日午後一
時カラ質疑ヲ續行スルコトト致シマシテ、
本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時三十一分散會

昭和十六年二月十八日印刷

昭和十六年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局